

POLITICAL JOURNAL

新政界往来

2022 Mar.

3

600円

創刊 91 年 国会両院記者会所属

島尻安伊子衆議院議員に聞く

日台は一衣帯水の兄弟分
東アジアの安全保障に責任



島尻安伊子元内閣府特命担当大臣

政権の行方左右する参院選
勝てば「黄金の3年」確保

台湾併合へ中国の野心
半導体握れば世界一変

ピューマ渡久地ボクシングジム
渡久地聡美会長に聞く

リングの外で交えた一戦

悔やまれる帝国ホテル建て替え

日本経営者同友会会長 下地常雄

新政界往来 ③

2022 年 3 月号

CONTENTS

島尻安伊子 衆議院議員に聞く 日台は一衣帯水の兄弟分

4



悔やまれる帝国ホテル建て替え 日本経営者同友会会長 下地常雄

10



ピューマ渡久地ボクシングジム 渡久地聡美会長に聞く リングの外で交えた一戦

19



元WBCアジアスーパーウェルター級王者 コブラ諏訪氏に聞く 勝者のみが報われる

26

政権の行方左右する参院選 勝てば「黄金の3年」確保

13

(株)エーシークリエイト代表取締役 金川彰氏に聞く 今年是不動産開発の年

44

日本経営者同友会 政経研究委員会委員 兼子暁吉氏に聞く 台湾併合へ中国の野心 半導体握れば世界一変

50

沖縄銀行糾弾第4弾 マチ金的回収法を問う

54

通常国会スタート 「対中」が政権の試金石

16

ガンは不良少年と同様 愛情注げば更生する

47

好評連載

永田町ファイル
茂木敏充・自民幹事長……………30
泉健太・立憲民主代表……………33
霞ヶ関ファイル
岸信夫防衛相……………36
林芳正外相……………38
末松信介文科相……………41
ワールドトピックス……………57

松田学の国力倍增論 (21) ……………58
アジア短信……………61
政界日誌……………64
月間事件簿……………67
下地常雄回想録 25 ……………70
俳句・川柳「ひょうたんなまず」……………73
編集後記……………74

東アジアの安全保障に責任

衆議院議員

島尻安伊子氏に聞く

2年間の雌伏期間を経て、島尻安伊子氏が永田町に戻ってきた。この期間、沖縄3区でのドブ板行脚を続け、「沖縄が抱える問題に接することができるチャンスを感じ感謝だった」と至って謙虚だ。その島尻衆議院議員に本土復帰後50周年を迎える沖縄の振興問題や辺野古基地移転、中国海警船の恒常化する尖閣沖領海侵入などを聞いた。（聞き手＝徳田ひとみ本誌論説委員）

インタビュー

——少しのお休みを経て永田町に復帰されたわけですが、春に咲く花の多くは凍てつく冬を越えて力を付けているものですが、島尻先生にとってこの期間、どういった意味をもつものになったのでしょうか？

そもそも私の政治活動は、那覇の市議会議員から始まりました。

ただ市議は、二期しかやってないんで

すよ。その二期も最初、補欠選挙から出て、本選がすぐだったので、二期ではあるのですが、結局3年しかやってないんですね。

その後、すぐに参議院議員に立候補して、それからずっと突っ走ってきた感じがあります。

2016年の参議院選挙では、落選しました。これがただの落選ではなくて、それまで沖縄担当大臣だったので現職大臣の落選という、しかも選挙区が沖縄ですから、安倍政権に迷惑をおかけしたというのがすごくありました。

そのあと、菅官房長官に引つ張ってもらって大臣補佐官をやらせていただきました。

それを2年ちよつとやらしていただき、2019年4月、衆議院第3選挙区

の補欠選挙でも落選しました。

でも正直、そのあとの活動というのは忘れがたいものになりました。

それまでは参議院議員としてやってきてはおりましたが、衆議院議員でしかも沖縄第3選挙区で、辺野古を抱える難しいところでしたから。

そこで浪人時

代の2年間を活動することで、改めて沖縄が抱えているシリアスな問題に對峙することになりました。今回はコロナのあとをどうするのかという経済的な訴えをしなければいけませんでしたし、3区内を細かく回って、後援会活動もやりながら、沖縄が抱える問題を理解できるチャ

日台は一衣帯水の兄弟分



しまじり あいこ 1965年、宮城県仙台市生まれ。80年、私立聖ウルスラ学院高等学校入学、同校在学中米国留学。88年、上智大学文学部新聞学科卒。89年、昇氏と結婚。3男1女、4人の母親。2004年、那覇市議会議員補欠選挙で初当選。07年、参議院議員沖縄選挙区補欠選挙にて初当選（無所属＝自民、公明推薦）。11年、自民党女性局長就任。15年、内閣府特命担当大臣、自民党沖縄県支部連合会会長。16年、内閣府大臣補佐官。19年、自由民主党沖縄県第三選挙区支部長。21年、衆議院議員選挙で当選。

ンスをいただき心底よかったなと思っています。

マイクの前で訴える時も、その問題を抱えている人たちの顔を思い浮かべながら、訴えられるようになりました。

——政治家としてあるべき姿かなと思います。選挙区を自分の足で歩くと、気づくものがたくさんおありなのでしょうね？

そうなんです。

それこそ私の政治家人生での資産となったような気がします。とても有意義なものになりました。

——中国海警船による尖閣沖の領海侵入が恒常化しています。我が国はどういった対応策が必要なのでしょう？

尖閣周辺に中国の船がきたというのは、しばらく前からのことになりますが、最初は1隻からでした。それがやがて2隻になり、2隻が3隻になりと段々増えて、しかもそつと増えていくので、そこに恐ろしさを感じます。

——不気味ですね。

あの海域は沖縄にとってすごくいい漁場で、宮古とか八重山とか、むろん、本島からも漁師が漁をしているところで

す。7、8年前ででしょうか、「尖閣の魚

を食す会」というのを、自民党本部で議論を作ったことがあるんですけど、おいしくて、当時はあからさまに中国が言ったりしてこない時で、今からちゃんとしておかなきゃということ始めたんです。

そこです。まず尖閣ブランドの魚を獲って売ろうと、経済的な基盤を日本としてそこで作りあげないといけないと思ってやってきました。

中国海警局の船が頻繁にやって来るようになり、事件も起きました。それ以来、日本の漁師は細々とした魚業もできなくなっていました。

——昔は尖閣で、日本の漁師がカツオブシを作っていた事実もありますね。対応策はどういう手立てがあるのでしょうか？

基本は日米の同盟ですから、そこだと思っています。

尖閣の西南には台湾もありますから地政学的要衝の地でもあります。

沖縄県としても、現状認識をしつかりやって、どうしたらいいのか国と連携す

る必要があります。

県知事には県民の命と財産を守るというのがあるわけですから。

沖縄県北大東村議会は、政府に対し自衛隊配備を求める意見書を全会一致で可決したとの報道もありました。「ある外国の一方的軍事進出が南西方面をはじめ、台湾、尖閣諸島等の地域で危険水域に徐々に近づいている」として、名指しは避けつつ中国の海洋進出に「迫り来る恐怖として」、警戒心を示したものです。

——沖縄のマスコミは、そういうことに關しての扱いは小さいですね。

その通りです。

——中国に対する、マスコミのありかたも問われてもいます。なお、中国の台湾統一工作が本格化する中、欧米議員団が訪台し蔡英文總統と会談したり、従来の中国閩与路線から離別しています。台湾が中国に取り込まれれば、東アジアの安全保障はがらりと様相が変わってくることに懸念されます。我が国ができることは何だとお考えでしょうか？

それこそ台湾と、当時の琉球との交流というのがあって、特に八重山あたり台

湾から移り住んでいる方がたくさんいらっしゃると思います。沖縄県の本島にもたくさん

ん住んでいます。台湾の代表所が沖縄にもあるほどです。これは日台のシンボリックな話だと思います。

台湾と日本がますます経済連携を強めていく中であって、沖縄は県ではありますが、沖縄は台湾の隣にありますし、気心も知れているわけですから、まずは経済的な交流を強化していきたいところです。

そういうところから始めていって人的交流とか、もつと外に分かるようにやっていくべきだと思います。

何より台湾人が危惧しているのが、中国の統一工作に取り込まれてしまえば第二の香港になりかねないというものです。大変な危機感を持っていると思います。かなりな米高官もどん

どん台湾に入っているわけで、往年の米台関係とは局面ががらりと変わってきました。

我が国も、東アジアの安全保障に責任があるわけですので、日本と台湾と言うのは一衣帯水で兄弟分ですので、そこはしっかりとやるべきだと思います。

——欧米などの民主主義国家も台湾を応援している状況です。台湾は小さな島国ですが、中台問題は全世界を巻き込んでいく状況にあります。日本の関わり方は大変重要なことで、地政学的にも日本は、台湾との連携を更に密にして、世界に発信することができそうですね。

そうですね。私も日華懇という議員連盟がありますが、参議院に入ってからずっとやってましたし、それこそ那覇の市議会議員になる前から、琉球台湾婦人会に入って、年3回、4回は台湾を訪問してもいました。

——数年前、私が所属している団体の会長と一緒に李登輝元総統からのお招きを受け、プライベートな事務所でお会いした際に、「日本は台湾を植民地にした経緯があるが、台湾人はみんな感謝してい

徳田ひとみ論説委員のインタビューに答える島尻安伊子議員



と、そういうポテンシャルがあるのだとおっしゃっていましたね。

ポストコロナ、ウイズコロナの時代にあつて、新しい沖縄振興法を作りつつ、前に進めていくべきだと思います。

他方、沖縄振興だから、経済一本というのは仕方がないことでもあります。遅れてしまった教育問題とかも待ったなしの状況です。私が大臣の時に沖縄の子供の貧困対策事業というのを立ち上げてやりましたが、それに見えるように、子供たちの教育をどうしていくのか。ここをもっと充実させないと、貧困対策にならないと思います。

だからこういうところにもっと予算付けして、やっていく必要はあると思います。

——集団と個という問題は私の若い頃からのテーマでした。政界で自分の信念を貫き他との協調を保ちながら上手に生きていくというのは難しいことだと思えます。政党の方針と個としての考えが必ずしも一致しない場面もありますしね。政治家と言つのは、変節漢に見られたりしがちです。いろんな状況を考えると、不

の議論が進んでいるところでもありません。

新聞にも載っていますが、これまで通りの節目をおきながら10年ごとがいいとか、10年10年というのはおかしい。沖縄の振興はまだまだ必要だから、沖縄振興予算を恒久法で担保すべきだとかといった具合です。

こうした議論の最中にあります。

その中で、沖縄振興予算が決まってくことになると思いますが、私としては50年たつて、これまでかなり明るい沖縄にもなっているし、やはり独り立ちして勝負できるところまで来ているので、むしろそういうところを伸ばしていつて欲しいなと思つています。

辺野古移設については紆余曲折ありましたが工事は進んでいます。普天間飛行場の危険性の除去のため一日も早く移設すべきです。

——沖縄は日本人が訪れたい憧れの場所です。観光事業など国の援助に頼ることなく自立するというのはこれからの大切な課題ですね。安倍政権の時、総理は沖縄が日本の経済のけん引役になれるんだ

る」とおっしゃっていました。日本は台湾で、鉄道や学校など基礎インフラ整備に国力を注ぎ込んでいましたから。とても親日の方が多いですね。先生は高校時代から政治家志向がおりだったのですか？

正直申しますと、全くそうした政治家を目指そうとしたことはありませんでした。

私の夫が沖縄生まれで、小さい時から復帰運動とか、そういうのを見て育ったものですから、沖縄をしょって立つみたいなことを自分で決めて、やっていて何度も国政には立候補しています。

その意味では、私は門前の小僧のような立場で沖縄の政治を見てきました。

——辺野古移転がなかなか前に進みません。基地問題解決に向け島尻先生のお考えをお聞かせください。また、沖縄の底力を引き出す手立てや振興策はあるのでしょうか？

沖縄復帰から50年になります。この50年間、10年ごとの時限立法で変わつてきて、2021年でまた切れて2022年から新しいのをどうするのか。まさにこ

そうですね。

政治の仕事には、調整するというのがあります。

これまでの政治を見ますと、調整能力があるのが自民党でもあります。

だから国政を担えるのです。これは間違いないと思つています。

——確かにそうですね。自分の主義主張だけを押し通す信念突進型だと、ひずみがでてくるし、国際的な日本の立場というのが危うくもなります。その意味では岸田首相というのはお上手だとお見受けしますが。

「聞く力」ですかね。

——柔軟すぎると言われても平気な顔で冷静であり続ける。今の日本の立場がそういう立場ですので、こぶしをあげてやるぞという方だとちよつと危ないかなと思います。溫柔、曖昧あいまいと言われるぐらいが、バランス感覚は優れているのかもしれません。

そうですね。さすが外交をやつてこられただけのことはあります。

戦略的あいまいというのがありますからね。

——その岸田政権に何を期待されますか？

「聞く力」とか、今までの安倍政権や菅政権とは少し毛色が違う政権ができたかなと思つています。

沖縄としても国の政策と連携して、進める必要があります。その点、岸田総理は沖縄担当大臣も経験なさつて、よく知つていますから、そこに対する期待は沖縄県全体に経済界からのみなさまからもよく聞く話です。

よく政府と連携をとつてやらせていただきたいと思います。

——お亡くなりしましたけどエリート政治家だったK氏とお話した時、インプットされた多くの情報と、他者との調和をお考えになり、身動きがとれない場面をお見受けしたことがあります。理念とは別に現実問題に対処しなければならぬ政治家というのは、決断力が問われてくるものです。その意味では大局を見てスバツと割り切れる思い切りの良さも求められますね。パーフェクトな決断はありませんものね。

【聞き手プロフィール】

とくだ ひとみ 1970年3月、日本女子大学文学部社会福祉科卒業。1977年4月、徳田塾主宰。2002年、経済団体日本経営者同友会代表理事に就任。2006年、NPO国連友好協会代表理事に就任。2010年から2019年まで在東京ブータン王国名誉総領事。本誌論説委員。

悔やまれる帝国ホテル建て替え 問われる経営者の品格

日本経営者同友会会長 下地常雄



【プロフィール】しもじ つねお
沖縄出身で歴代米大統領に最も接近した国際人。1944年沖縄宮古島生まれ。77年に日本経営者同友会設立。93年ASEAN協会代表理事に就任。レーガン大統領からトランプ大統領までまでの米国歴代大統領やブータン王国首相、北マリアナ諸島サイパン知事やテニアン市長などとも親交が深い沖縄出身の国際人。テニアン経営顧問、レーガン大統領記念館の国際委員も務める。また、2009年モンゴル政府から友好勲章（ナイラムダルメダル）を受章。東南アジア諸国の首脳とも幅広い人脈を持ち活躍している。

し5・9キロを走る。

合理主義者からすれば徒労感を覚えるものかもしれないが、畏敬すべきものを持っていることは日本の欠くべからざる遺産だ。

皇居前に建っている帝国ホテルもさすがに、窓を北東にとり北西方向の皇居を見下ろすような造りにはなっていない。その帝国ホテルが今春、建て替えを決定した。

建て替え対象は、帝国ホテル東京本館とタワー館などだ。

旗艦ホテルである帝国ホテル東京は、3代目の建物である本館の建物が、竣工から50年を経ており、また、1983年に開業したタワー館も竣工から39年が経

皇居の下には地下鉄が通っていない。

丸ノ内線は四ツ谷から東京まで直線で3キロ半だが皇居を避け、ぐるりと回っ

て5キロを走る。

銀座線も赤坂見附から神田まで直線で3・7キロだが、これも皇居の淵を半周

過している。

通常の合理主義者からすれば、十分利益も叩き出したし次の時代に向けた器づくりを考えるのも分からなくもない。

ただ、日本の美風と歴史を大事に守り育てることに注力する国際的感覚からすると、それでいいのかと言いたい。

多くの人々の歴史を壊してまでも営利主義に走ろうとすることに大いに疑問を感じる。

その点、銀座の和光ビルは立派だ。輸入時計・宝飾品等を扱った服部時計

店（現・セイコー株式会社）の創業者・服部金太郎が、「時計塔」を建てたのは明治27年のことだ。

戦後は一時、進駐軍によって接收されたものの、やがて服部時計店の小売部が独立した「和光」店舗・社屋として再スタートし現在に至っている。戦時中、銀座は空襲で焼け野原と化したが、震災に強い天然の御影石を外壁に使っていたこともあり焼失を免れた。

ただ驚くべきは外的な震災への備えがあつたというだけでなく、歴史的な面影を残し続けようとした意思が子々孫々と受け継がれていることだ。

和光ビルは、外観はもちろん建物の主要部がほぼ創建当時のまま残る稀有な事例となった。

しかも銀座の一等地という東京でも有数の地価を誇る場所だ。

歴代経営者は単にそろばん勘定だけでなく、初代の思い入れを綿々と受け継いできた結果であることが鮮明に読み取れる。

和光ビルは服部家の名所であると共に、その心意気は誰しもが頭を下げる。

日本は、老舗が多いことで世界に知られる国だ。

和光はその老舗の中でも、単に歴史があるというだけでなく、その名前に負けず誇りある日本の精神性をも秘めた光り輝く場所を創り上げることに成功した。

その和光に劣らず、帝国ホテルといえば、多くの人々の思い出に残る文化遺産といつてもいい場所だ。

このホールで多くの日本人が結婚式をしたことだろうし、東京を新婚旅行に選んだ地方の人々は少なからず帝国ホテルを宿坊とした。

その意味でも帝国ホテルというのは単なる建物ではなく、人々の青春と希望と喜びの記憶に満たされた思い出の地でもある。和光ビルが日本一の目抜き通りのランドマークとすれば、帝国ホテルは皇居前のランドマークだった。

それをそろばん勘定だけで解体し、21世紀のホテルとして再建するというのは考えが浅いように思う。

耐震性など安全性に問題があるというなら分からなくもないが、帝国ホテルの耐震性は今なお十分な強度を誇っている。

帝国ホテル



それをまるまる壊し、更地にした上で新しく帝国ホテルを再建するというのだから、呆れてしまう。

解体すべきは、ただそろばんを弾こうとする頭の中身だ。

欧州では歴史を帯びた古いものはリフォームを重ねながら維持し続け、文化財として守り続けている。

歴史の重みにおいては、負けることのない一方の我が国が、損得勘定の採算性のみで動く打算の民族と思われるのは恥ずべきこともある。

歴史ある日本のホテルは近年、すべからく壊されてきた。

キャピトル東急ホテルにホテルオーク

銀座一等地に建つ和光ビル



ラ、パレスホテル、靖国パレスと数え上げれば枚挙にいとまがない。

キャピトルホテルの中華料理・星ヶ岡は、重厚な雰囲気があったものだが、建て替え後は単なる食事処になってしまった。こういうのは心底、残念に思う、長年親しんだものとすれば寂しいかぎりである。

京都は町を挙げて古い街並みを残す努力を続けている。高層建築には高さ制限を設けるなど、不便はあっても歴史資産を守り続け、世界に名だたる古都としてのステイタスを維持している。京都のごみは、それをビジネス資源として活用しているところだろう。単なる精神論だけで歴史資産を恒常的に維持管理していくことは現実的ではない。それを世界から人を呼び込む吸引力として活用し、京町家の佇まいや伝統的生活文化を受け皿にした宿泊業や飲食・旅行業を中心にした観光産業や京都産製品のブランド化に向けた産業振興を図っているのが京都だ。何より日比谷は明治時代以降、外国貴賓のための本格的なホテルとして建設された「帝国ホテル」や東京で初めてのホ

テルとなる「東京ホテル」など「おもてなし」の地として発展した。

「おもてなし」は豪壮な建築や優雅な内装が保証するものではなく、内に秘められたハートがなければ命が通った「おもてなし」とはならない。

そのハートの主要部分が欠落しているとしたか思えないのが、今回の帝国ホテル建て替えの決定だった。

解体すべきは営利至上主義であり、再建すべきは歴史と人々の心に寄り添うハートだ。

それがなければ、輝かしい帝国ホテルの高いブランドも、いずれ地に落ちる。胸に去来するのは、三井不動産の復興に尽力し社長、会長を務め、初代不動産協合理事長にも就任した江戸英雄氏のことだ。

戦後屈指のディベロッパー（都市開発者）だった江戸氏は、東京、千葉、茨城に日本を代表するランドマークを残し、死してもなお燦然たる輝きを放ち続けている。

今、江戸氏は泉下で何を思っているのだろうか。

政権の行方左右する参院選

自公の蜜月関係に変化も

今年7月に行われる参議院選挙は、岸田文雄政権の実績が初めて評価されるとともに、政権の行方を左右するといっても過言でない重大な国政選挙だ。岸田首相は勝敗ラインを「与党で過半数」とするが、勝利すれば政権基盤が固まり「黄金の3年間」を手にして長期政権の足掛かりを得ることになる。敗北すれば責任を問う声が強まり、衆参両院のネジレ対策に時間と労力を費やし政権の求心力は急速に弱まることにつながる。

勝てば「黄金の3年」確保

参院選は、衆院選と異なり政権選択選挙ではないため政権交代はないが、敗北して首相が引責辞任するケースはあった。橋本龍太郎首相（当時）は1998年の参院選で、当初の予想を大幅に下回り引責辞任した。2007年の参院選では、安倍晋三首相（当時）が歴史的な大敗

を喫し与党が過半数割れした。首相を続投したものの党内から公然と辞任要求が出るなどし、「健康上の理由から」と釈明して退陣したが、事実上、敗北という結果が辞任に追い込んだものと見られている。

「岸田政権も例外ではない。新型コロナ

ナウイルスへの対応で失敗すれば敗北する可能性は否定できない。逆に、コロナ対策の成功は岸田政権の長期化に直結するのだ」と自民党幹部は語る。そのこともあり、岸田首相は年頭の記者会見で新型コロナウイルス「オミクロン株」感染の急拡大という「国難」に対処する司令塔として「万全を期す」との決意を表明したのである。

現在のところ、岸田政権に対する世論の支持率は高く、日テレ・読売新聞の1月調査では66%にまで上昇している。他社の調査でも上昇傾向にある。菅義偉前政権の発足当初に歴代3位の高さ、と言われた支持率とほぼ同じ高さになってきた。「この勢いを持続し感染数減少などの結果を出していけば参院選で負けるこ

とはないだろう」(同)と見る向きが多い。他方、公明党との選挙協力の具体的な進展状況を見ると、昨年までの自民、公明の蜜月関係に変化が起きている。選挙

区7議席、比例代表7議席、800万票を目標に掲げる公明だが、32の改選1人区を中心に自民候補者への推薦見送りを検討。また、公明が候補を擁立する複数

区についても、自民側に推薦を求めない方向だ。前回の2019年参院選では相互推薦の方針について18年12月に合意した。今後の調整次第で変更はあり得るだろうが、自民離れの傾向はあるようだ。

「それを象徴しているのが、両党のパイ役となってきた菅義偉さんと選挙実務を取り仕切り創価学会の政治部長と言われてきた佐藤浩副会長との『SSライン』が機能しなくなったことだろう」と政界関係者は指摘する。菅氏は官房長官時代から佐藤氏と関係が深まり、創価学会と関係の薄かった安倍首相に代わって関係を築いてきた。ところが、佐藤氏が「定年退職」を理由に第一線を退いた昨春から自

公関係が微妙に変化。菅氏も首相の座を去って両党の絆は弱まりつつあるというわけだ。

「岸田政権は今年、敵基地攻撃能力の保有や憲法改正などの議論を積極的に行う見通しだ。公明、創価学会はもうそろそろ、タ力派的な議論に付いていけなくなっている。自民とは距離感を持って対処していくべきだとの声が学会内の婦人部を中心に高まっているようだ」(同)という。

ただ、昨年実施した衆院選比例代表の投票結果に基づき、今年の参院選挙区の各党の獲得議席数を時事通信が試算したところによると、勝敗の鍵を握る改選定数1の1人区32のうち、自民、公明の与党が30勝し、野党は2議席にとどまった。試算は、野党を立憲民主、共産、国民民主、れいわ新選組、社民5党の候補者一本化を前提にし、さらに日本維新の会も加えた3勢力の構図としたものだ。改選定数2以上の複数区も含めた全選挙区(74議席)の試算でも、与党が51議席を獲得し、野党の20議席を大きく引き離す結果となった。自公連携がウインウイ

昨年11月、第2次岸田政権が発足



立憲民主党・泉健太代表



日本維新の会・松井一郎代表



国民民主党・玉木雄一郎代表



ンの関係にあるのは両党の一致した見解だ。

岸田首相は6日収録のテレビ番組で参院選に関し「安定した政治、安定政権があつてこそ難しい重要な課題に結果を残すことができると思う。なんとしても勝たなければならない」と強調。5日には都内で開催された連合の新年交歓会に出席、「政治の安定という観点から与党にも理解と協力を心からお願ひする」と呼び掛けた。現職首相の同会への参加は2013年の安倍晋三氏以来9年ぶり。岸田首相は、芳野友子・連合会長を首相の看板政策を議論する新しい資本主義実現会議のメンバーにも引き入れた。立憲民主、国民民主の支持母体にまで手を突っ

込んでいるのだ。

岸田首相が参院選を無難に乗り越えれば、その後3年間は国政選挙がないため自らの政策実現にまい進できる。「黄金の3年間」と言われる由縁だ。自民党役員の任期も「1期1年、連続3期まで」と変更したことから、参院選後の党人事をめぐり求心力をアップできる。衆院解散のカードも手にしながら政権運営に臨め、長期政権への道が開けることになる。

一方、野党第一党・立憲民主の泉健太代表は「全ての選挙区に候補者を立て、改選対象の現有23議席から上積みを目指す」考えだ。しかし、衆院選で見せた共闘をめぐって共産党との間で評価に開き

があり、候補者調整は進んでいない。連合からは共産との離縁要求を突き付けられているが、態度はいまいなままだ。

また、共産との共闘に組みしない国民民主は、小池百合子都知事が特別顧問を務める地域政党「都民ファーストの会」との選挙協力の検討を始め、合流も視野に入れるなど別の方向を向いている。一時は全国政党を目指すとする日本維新の会との連携も模索したが、維新は「二大政党の一翼を担うような組織をつくっていく」(松井一郎代表)とし、定員が複数の選挙区で積極的に擁立する方針だ。こうしたことから、昨年の衆院選で見せた野党共闘の再構築は容易ではないものと見られる。

通常国会スタート

「対中」が政権の試金石

コロナで与野党論戦激化へ

月の町
永田

第208回通常国会が1月17日、開幕した。岸田文雄首相は感染が急拡大する新型コロナウイルス対策を「最優先課題」に取り組み、参院選を前に政権の実績を重ねたい意向だ。しかし、そのコロナ対策や対中国、北朝鮮問題など外交・安全保障案件が目白押しで、看板の「新しい資本主義」の中身も十分に明らかになっていない。会期末の6月15日までの150日間、与野党の攻防が激化しそうだ。

岸田首相は就任後初の施政方針演説で、「新型コロナに打ち克つことに全身全霊で取り組む」覚悟を示すとともに「コロナ後の新しい日本を創り上げるための挑戦をしよう」と呼び掛けた。また、幕末に西郷隆盛と対面し江戸城無血開城を

決断して庶民を救った幕臣・勝海舟の言葉を引用して「行蔵は我に存す」と述べ、責任はすべて自らが負う決意を強調した。

これに対し、野党側は、新型コロナの感染拡大の防止策や生活困窮者への支援

策など、政府の対策には不十分な点が見られるとして追及する方針だ。立憲民主党の泉健太代表は、「肝心なところに具体策がない」と指摘。新型コロナの変異株「オミクロン株」については『想定以上』と言うが、最悪を想定するのは

なかったか」とし、政府の水際対策や感染症法改正案の今国会提出見送りなどについて追及していく構えだ。

中国に対する姿勢についても不鮮明さが際立った。岸田首相は「主張すべきは主張し、責任ある行動を強く求めていく」

と語る一方で、「同時に、諸懸案も含めて、対話をしっかりと重ね、共通の課題については協力し、本年が日中国交正常化50周年であることも念頭に、建設的かつ安定的な関係の構築を目指す」と語った。この発言について、自民党幹部は「ど

うも腰の引けた言い回しだ。

2月4日から20日まで開催される北京冬季オリンピックに、閣僚や政府高官ら政府関係者を派遣しない方針を正式に表明したものの、中国の人権侵害行為を非難する対中非難決議案の中身は全くの骨抜きになってしまった」と指摘する。また全国紙政治部記者は「首相は演説で『新時代リアリズム外交を展開していく。日本外交のしたたかさが試される1年だ』と語ったが、いよいよ親中派の林芳正外相の出番だ、というのでは困る」と語った。

昨年の新政権発足にあたり、二階俊博幹事長の後任に、

外相を務めていた茂木敏充氏を起用し、外相には林氏を就任させた。林氏は日中友好議員連盟の会長を2017年から務めてきたが、「無用の誤解を招く」との理由で辞任した。だが、この組織は中国共産党政権とべつたりな関係にあり、米国防総省などから対日工作機関として警戒されている。父親の義郎氏（元蔵相）も同会長や日中友好会館会長を務めるなど親子そろっての親中派だ。幹事長となった茂木氏も、1972年に日中国交正常化を果たした田中角栄元首相系列の会長である。二階氏ほどではないが中国に傾斜しやすい人物だ。議員になる前にマッキンゼーに勤めていたことから外交哲学を持っているというより経営コンサルタントの発想で事を運ぶ危険性がある」と自民党中堅幹部は語った。

岸田首相自身は安倍政権下で外相を長く務めたため、安倍氏が主導し米国はじめ国際社会から評価された対中包囲網形成外交を基本に据えている。「自由で開かれたインド太平洋」の推進やTTP（環太平洋経済連携協定）の着実な実施などの方針は受け継いでいる。ただ、林、

衆議院本会議で施政方針演説を行う岸田首相



コロナ禍のドミニカ遠征試合

渡久地聡美会長



とぐち さとみ 千葉県立印旛高等学校卒業後、プロボクサーになって間もない渡久地隆人（後のピューマ渡久地）氏と知り合う。1993年8月5日入籍。渡久地引退後、都内に「ピューマ渡久地ボクシングジム」を立ち上げるが2006年に離婚。その後、渡久地は故郷の沖縄に帰って療養。残されたジム会長に就任して選手を育成、現在、コブラ諏訪、デスティノ・ジャパンなど3人のプロボクサーが在籍する。一般練習生の方々がメインのジムとなっている。

糸を解きほぐすみたいな遠征試合だったから、男だっ

ピューマ渡久地ボクシングジムは先だってカリブ海に飛び、ドミニカ共和国での遠征試合を挙行した。コロナ禍の中、誰しもが引きこもりがちの中、敢えてリスクをとった。だが、そこで遭遇したのはカリブの海賊ならぬ、鴨葱を待ち構えていた不逞の輩たちだった。渡久地ジムはどう切り抜けたのか。リングの外で展開された手に汗握るファイター振りを渡久地聡美会長に聞いた。

——ボクシングジムの女性会長は、渡久地さんただ1人だけ？
世界的には分からないけど、珍しいのは事実だろう。
——今回のドミニカでの遠征試合では、男だったら流れただろう試合を粘り腰の女性会長だ

ピューマ渡久地ボクシングジム 渡久地聡美会長に聞く リングの外で交えた一戦

高市早苗政調会長



日本維新の会・馬場伸幸共同代表



茂木ラインが力を増してくると、TTPへの中国加盟や「一帯一路」支持などの「対中妥協外交」へと傾斜していく可能性を否定できない。そうすると、安倍氏を始めとした党内の保守系議員から政権へ強い圧力が加わることになる。中国にどう臨むかが岸田外交の試金石となるのは間違いない。

北朝鮮からは1月17日現在、今年に入り4回目となる弾道ミサイルが日本海に向けて発射されている。岸田首相は「断じて許されない。ミサイル技術の著しい向上を見逃ごせない」と繰り返し。しかし、それだけでは国民に危機感伝わってこない。それに対処するため、「敵基地攻撃能力を含めあらゆる選択肢を排除せず現実的に検討する」とか「防衛力を抜本的に強化する」とし、「おおむね1年をかけて、新たな国家安全保障戦略、防衛大綱、中期防衛力整備計画を策定する」と語る。しかし、沖縄県石垣市の尖閣諸島問題や台湾有事なども含め、時間をかけて議論をしている余裕はあるのか。国民には「眼前にある危機」と映っており、この緊急事態に対処できるよう準備を加速させなければ、国民の生命と財産を守るなどできない。

『の両面から資本主義の中に埋め込む』と力説。「成長と分配の好循環による『新しい資本主義』によって、この世界の動きを主導していく。官と民が全体像を共有し、協働することで、国民一人一人が豊かで、生き生きと暮らせる社会を作っていく。共に、この『経済社会変革』に挑戦していこう」と訴えた。しかし、その全体像と実行計画は今春に取りまとめるという。これでは理念先行で訴えに力が足りない。

国民民主党の玉木雄一郎代表は、首相の演説について「大きな方向性で反対するところはないが、その先の具体像が見えない」とし、「今国会の一番の争点は賃上げで、給料が上がる具体策を提案していく」と語った。日本維新の会の藤田文武幹事長は、国会議員に文書通信交通滞在費として月額100万円が支給される問題について追及していく考えを明らかにしている。国会論戦で優位に立ち、その勢いを参院選に持ち込みたい野党とすれば、攻め手は多く、与野党の攻防は参院選を念頭に置きながら激しさを増す見通しだ。

たら面倒くさくなつて投げ出しただろうという人はいるが、実はある人の声掛けで局面ががらりと変わった。

——具体的には？

事前にドミニカ共和国側のジムと打ち合わせを済ませて渡航したのだが、到着すると話が全く違っていた。

当初、ピューマ渡久地ジムのプロボクサー3人が試合をする予定で、そのうち2人

ルイスアピナデル・ドミニカ共和国大統領（左から3人目）と
牧内博幸大使（左から2人目）、渡久地会長（右から3人目）



がタイトルマッチ戦だった。

それなりの予算が出ていた。ドミニカ共和国にすれば破格の金額だった。それでも地球の裏側でのタイトルマッチというのは、日本でやるより廉価で、何よりカリブでタイトルマッチをやるチャンスは日本人ボクサーでも初めてのことだし、これからも期待できないことだった。

だか、向こうに行くタイトルマッチの承認は取れておらず、対戦相手は変わりましたという話を切り出してきた。

すでにJBC（日本ボクシングコミッション）にも興行予定を提出しているのに、直前に理由もなく対戦相手が変わればタイトルマッチの許可が下りず試合が流れることになる。

さらにもう一つのタイトルマッチも同様に、試合間際にも関わらず、まだ承認が取れていないということだった。

しかも3人とも前座扱いで、約束の金はそのまま払えと言われた。話が違いすぎた。現地のコミッションの対応もありえなかった。

最初から騙すつもりだったのかどうか本当のところは分からないが、向こうとし

ては「日本からネギを背負ったカモ扱い」だったのは間違いない。

脅迫もあった。私たちに興行をやらせないための嫌がらせだった。

治安が不安定な国ということもあり、ホテルは3回変わった。

命の危険を感じながらやったのは、リング以外では初めての経験だった。

利権の問題というか途方もない金銭を要求したり、それに対して契約通りちゃんとやって欲しいと突き返すと、その都度嫌がらせをしてくる。その時、私が軽んじられたなと思った。

それで余計に意地が出てしまつて、なにくそという反骨精神に火が付いた。

——リングの外にファイターがいたというのだが、たとえ心に火が付いたとしても、そうした局面を開くするのは大変なことだ。

向こうの迷惑通りにならず、ちやぶ台返しみたいなことができたのは、民間のスポーツ興行としてではなく国のレベルに引き上げることができたからだ。

——というと？

東京の知人に、現地から電話で相談した。

すると知人

は、「ドミニカ共和国から招待されながら、こんなことをされては日本の恥でしょう」と言つて、外務省に顔のきく代議士に根回しした。

潮目が変わ

つたのはその時だ。

律儀な代議士は、その話を外務省高官に話し、それがドミニカ共和国の日本大使にまで伝えられた。

それまで日本大使は、ドミニカ共和国サイドに立って動いていた。

私がちやぶ台返ししたみたいになつたけど、ドミニカ共和国側のジムは「やれるものならやつてみる、その代わり、あなたたちに命の保障はない」とまで言ってきた。「この国で自分たちを差し置いて誰も興行はできない」ともいわれた。

績がなくてはいけなかった。

さらに知らない国でマッチメイクをしなくてはいけなかった。

しかもボクサーは、体重を作る必要がある。日本サイドからの風がキーパーソンを動かしたすこさが身に染みた。

普通は何かトラブルに巻き込まれそうなおいがして、そういうところで動きたくないというのが人情だ。それを厭わず引き受けてくれ、筋目を間違わず碁の布石のようにパツと石を置いてくれた。

それでも最後まで気を抜くことはできなかった。

というのも、ドミニカ共和国にはボクシングの試合用リングは一台しかなかった。これを押さえられてしまうと、興行は打てない。

だから出場予定していたボクシングの興行のある2日後に、我々の試合を設定した。翌日だと邪魔されるリスクが高かったからだ。

紆余曲折を経て、実際リングが無事に設置されたのも試合開始間際のことだった。こうしたリング外でのスリルとサスペンスが同時並行して動いたドミニカ共和国

試合開始2時間前にギリギリ設置完了したリング
(ホテルフィエスタ サントドミンゴ)



の遠征試合は、二度と味わうことがないくらい、貴重な経験となった。

——ジム経営と選手育成のどちらに力を

いれているのか？

本来はプロのボクシングジムなので、プロ選手育成がメインとなるところだが、うちは場所柄、地域密着型で地元の小中学生や一般の方がメインのジムとなっている。

——通ってきているのは何人？

今は100人程度。

——今回、ジムはコロナの直撃を受けたのか？

数名立て続けに抜けたこともあったが、結局、事態が落ち着いた段階で戻ってきてくださった。コロナ前と今ではほとんど差はない。本当に有り難い事だと思っている。

——下は小学生ということだが、上は？

後期高齢の80代と、年齢層は幅が広い。

——シニアがジムに通う目的は健康維持のため、それとも格闘技好き？

そもそもスポーツジムに通っていた人だが、スポーツジムにはなくボクシングジムにあるものをみなさん、感じとられてきているように思う。

——それは一体何？

結局、人は対面なんだと。

自分でもトレーニングはできるけれど、ジムではコーチがミットを持ってくれたり

する。コーチは本人が気づかないところをフォローするからだ。さりげなく背中についていたゴミを拾うという感覚の役割。指導で一番、気を付けているところだ。

——トレーナーの実力が問われる？

今、トレーナーはボクシングジムでは珍しいのだが、現役のプロボクサーが兼業もしている。

出入りはあるが、元チャンピオンが指導員になっている。

トレーナーとして入るスタッフは、タイトル経験者に限定している。

——そこにこだわっている理由は？

ある程度の高みを極めていないと、細かな指導はできないと思っている。

——トレーナーの経験は？

私はミットは持たない。元夫のピューマ渡久地がいた時には、彼が全て見ていたが、彼が療養に入って現場を去った後、トレーナーはいなかったため、私がやるしかなかった。この15年間は選手のチーフセコンドもやっただし、試合前のバンテージも巻いてきた。試合が決まれば毎日練習もつきつきりで見ていた。

——全部知った上で、今の仕事にあたって

ということでもある。

——生徒は教師の背中をしっかりと見ている。

そうだ。

お手本となるにはまだまだ未熟者なので、私も一緒に成長するねというスタンスで走っている。

——教育という意味では、ボクサーの育成は特殊な教室だ。体育のように体の機能向上や健康維持のためというものではなく特殊なトレーニングが必須となるのだから、特に心掛けているのは？

すべては精神が肉体を制するので、どれだけ精神面で鍛えられるかということが、ボクシングの厳しいトレーニングに凝縮されている。

ボクサーはどれだけ才能があっても、同じことを毎日続けるというのは一番難しい才能だ。それを習慣にするまでが本当に大変で、その部分がボクサーを育てる最初の要となり、これが結構デリケートで難しい。

ボクシングの才能があっても、すぐに放り投げる者もいっぱいだし、執念でしかみつく才能を発揮した者もいるので、最初の段階でしっかり見極め指導しないと、私たちが各々の才能を潰しかねないと自戒してい

コブラ諏訪のセコンド役をした渡久地会長



いる？

そうだ。この世界に入ってからこれ30年になるが、オールラウンドにすべての業務をこなした上で、会長として今の仕事に従事している格好だ。気が付いたら、人生の半分以上になった。

ボクシングは、ただの殴り合いではなく、人生の教えが詰まっているといっても過言ではないくらい奥深い。

——確かに教えることは、教えられることだ。教える立場である限り、常にさばれない

る。

——会長であれば母親のような包容力と、時に父親のように突き放して胸を貸す存在であったりする必要があるうかと思うが、距離の取り方は？

リングでチーフセコンドに入る場合、距離は全く考えていない。結局、リングの中では選手の命を預かっている。私のタオルが決まる。入れるタオルのタイミングを間違えると、選手生命を潰してしまう。じっくり見ていればタオルを入れずに逆転する場合もあるので、距離感というよりも精神面やハートの部分でどこまでつながっているかということが要となる。

そうであれば、ボクサーも歯を食いしばって頑張ってくれる。私の本気度が重要と思う。

セコンドで出る言葉は、選手との信頼関係がないと究極の極限状況では耳に入らないものだ。

私もリングと一緒に戦っている所以他们の負けは自分の負けだと思うぐらい、本気で向かっているのだから、彼らも私を本気で受け止めてくれる。

今はこんな格好しているが、リングでは

ジャージ着て、全然違う人間になる。
周りからは豹変したみたいと言われる。

——幻冬舎から「餃子ダイエット」の著作も出している。
そうだ。

体重を落とせと言えば、彼らは5キロぐらいは簡単に落とせる。

——1日で？

いや3時間で落とす。プロなので。

ただ落とすだけだったら、水抜きをする。彼らにとってその気になれば難しい作業ではない。

ただ戦える肉体と戦える筋肉と、パワーを残しながらの5キロ減量というのは最低限の時間が必要となる。

——どの位？

彼らは常日頃から暴飲暴食しないので、最終的には10日間で7キロぐらい。それまではある程度まで、しぼりつつ練習量で落としていく。それでも私は食べるのを止めさせることはない。

だからみんな地獄だといっている。食べないで落とす方がよほど楽だからだ。

食べさせながら落とすというのは、その分練習がめちゃくちゃハードになる。

精神がちよつとでもぶれていると、そこでくじけてしまう。それをふるいにかける。

そうでなければリングには上げない。うちはプロの人数も少ないし、頻繁に試合をやっているかといえ基準をクリアしない限りマッチメイクをしないので、他所のジムよりかなり厳しいかと思う。

ただ20年間、事故は一度も出していない。——これまでリングにタオルを投げ入れたことは。

過去にタオルを入れたことは一度だけある。

それは減量に負けたボクサーで、才能に恵まれた若い18歳のエリートボクサーだった。

その彼が、プロに転向して減量が全くできなくなつて、うちが預かつて体重を作っていたが、挫折して前日計量で体重オーバー、試合では戦う本能というか、体よりもメンタルの火が見えなかった。

それでタオルを入れた。

——最初から入れた？

チケットを買っていたくお客様あつての興行なので、それはありえない。

戦っている中で、ボクサーというのは打たれても打たれても、実は意識さえない中で戦っているボクサーもいる。パンチが効いてしまっているが本能の中で手は出る。

ジムの練習風景



6ラウンドTKO勝ちしたコブラ諏訪



彼の場合特殊なパターンで、戦う体はあるけれど、戦う心の火が消えていたので、とても危険だった。闘争本能がないわけだから。

そうした時にパンチをもらうと、気持ちが入ってない分、死に至る場合もある。

これは直感的な本能だ。今止めないと危ない。その時に初めてタオルを入れた。

20年の中で一度だけだ。

——本能で入れたわけだが、その感性はどう磨かれるものなのか？

彼らと日々、一分一秒で生きている。リングの上の3分というのは、私たちにとってはたったの3分ではない。

リングの一分一秒は、人生がひっくり返る一秒になる。常に練習のスパarringも試合も、全部、その一秒の中で研ぎ澄まされて、こちらも戦っている。それは自然に身に付いたものなのか、感覚の世界なので言葉にするのは難しいが、私も一秒一秒を生きているので、だからきつと時間に対してシビアになったのだと思う。

一般の方の3分と、私の考える3分は全然違うのじゃないかなと思う。

——リングの上は、剃刀の上を歩くような生死をかけた世界だから。

絶対に判断を間違えることは許されない。体調も崩せないし、私も万全なメンタルで一緒にリングに上がらないと、そこで判断を誤ることはできない。

同じように戦っている。

——そういう姿勢だからこそ一体感が出てきて、選手からも信頼される。

本気であれば、その本気度に対して選手

はついてくる。

ただ、あまりに感情移入してしまうと冷静に見れない部分が出てきてしまつて、一方では選手との距離感も大事になる。

だから合宿があると、寝食共にして、あんまりべつたりしすぎてしまうと判断を見誤るリスクが発生する。

うちの場合はキャンプも1人1部屋。相撲取りの大部屋のような、みんな一緒にの部屋と言うのは、絶対しない。

そうした距離感を取る。もちろん、みんなと一緒にご飯は食べるが、寝る時などマイタイムの時間をしっかり確保しないと、近づきすぎると今度は情が入つてしまつて、タオルを入れるタイミングも判断もずれてくる。

そういう部分は一線を引いている。そこは絶対入らない、相手のテリトリーだ。

家族みたいではあつても、個々のその部分は尊重もするし、その部分には踏み込まない。

相撲の場合は、15日間、毎日場所があるから切り替えができると思うが、ボクシングの場合は、その一敗が引退にもつながる選手生命がかかっている。

ピューマ渡久地ジム所属
元WBCアジアスーパーウェルター級王者

コブラ諏訪氏に聞く

勝者のみが報われる

——少年時代からボクサー志願？

いや、僕が始めたのは21ぐらいからだ。ボクシングジムに通うようになったのは、

友達がプロボクサーになったことで刺激を受けたからだ。それがたまたま近場のピューマ渡久地ジムだった。渡久地会長にお

会いたのもその時で、かれこれ20年になる。

——途中でやめたいと思うことは。

それは何回もそういう時期はあった。

——自分でその都度、克服してきた？

自分で克服したのというのはいすくだ。多くは会長から何回かチャンスをお願いしたことで、やれたのかなと思う。

——チャンスと言うのは？

試合を組んでもらった。

——試合が入ると、闘

コブラ諏訪



プロフィール コブラ諏訪はリングネーム、本名は諏訪雅幸。1980年6月9日東京都港区生まれ。趣味は射撃や映画鑑賞。平成22年5月、東宝系で全国公開された映画「ボックス！」に主演の市原隼人さん演じるカブの宿命のライバル「稲村和明」役で出演。特技は足が速い。

争本能にスイッチが入る？

そうだ。目標ができるとそれに向かって走ることになるから、生活は充実してくる。リングの上での栄光は、この練習時の濃密度にかかっている。

——勝ちパターンとか、勝利の方程式はあるのか？

地味だけどボディーが入ると大体、僕の流れになる。

ボディブローが効いてくると、相手の動きが止まる。

——日頃の練習は、どういったメニュー？

練習ですか。

朝、5時ぐらいに起きてまず手始めに走る。距離は日によって違うがほぼ10キロ、長い時は15キロ程度だ。

——体調をみながら走り方を変える？

その時、その時で走り方が違う。

ダッシュが多かったり、長い走りでは有酸素運動をしたりといういるだ。

ダッシュでは筋肉のパワーが身につく、瞬発力とか心肺能力の向上が図れる。

試合で必要なのがスタミナだから、持久力が身につくロングランも欠かせない。

総合的に見ながら、自分のメニューを決めていく。

——それはマネージャーが決めるのではなく？

長いキャリアなので、自分で考えて決めている。

——試合の日に合わせて、体を仕上げていくと思うのだが、試合が決まると大体、どのくらい前から体を作っていくのか？

日頃の練習がものをいうのは、どの格闘技でも同じだが、大体、2、3カ月前から本格的な体づくりに入っていく。

いつ試合が決まってもいいように、日常の練習は欠かすことはない。強弱はあるが、それが基本だ。

ベースは朝の走りから、その後、ジムでロープ（縄跳び）を跳んだり、サウンドバツグを叩いたり、シャドーボクシングをしたり、たまにスパarringもある。

——ロープはどの程度？

大体、3、4ラウンド。

——1ラウンドというのは3分？

そうだ。

試合時間の1ラウンドを、日ごろから体になじませておく必要がある。

タイマーをかけて、他の練習も1ラウンドの時間単位が基本となっている。

休憩して、また1ラウンド跳んでというのを繰り返すことで、1ラウンドの体内時計を作っていくのと同時に、3分の運動と1分の休憩といったリズムで体のパフォーマンスをよくしていくことで、試合時の動きをよくし、休憩時のリカバリー力を上げていく。

それを20年間、ずっとやってきた。

——これからの目標は？

今、試合から離れているが、ジムが運営している麻布十番でクライオセラピーの店長をやっている。

クライオセラピーというのは、液体窒素などの冷却材を用いて極冷却空間（マイナス150℃～マイナス120℃）を作り出し、低温環境によって引き起こされる身体反応に基づくトリートメントのひとつ。わずか2～3分間の短時間冷却で効率的なメンテナンスが可能とされ、スポーツ分野や美容分野でも活用されている。

——海外での認知度は？

ここ数年、世界の一流のアスリートやプロスポーツマンが、クライオセラピーを使

更生保護法人 関東地方更生保護事業協会

主な事業

保護司、更生保護施設、更生保護女性会、BBS会、協力雇用主など、更生保護事業にかかわる民間団体に対する連絡・助成



諸団体の事業・活動資金の助成などを行い、円滑な活動が行われるよう支援します。

更生保護事業従事者の教養訓練の実施



保護司等、更生保護事業に携わる人たちの研修会などを実施し、多くの人々がそこで研鑽を積みます。

犯罪の予防及び更生保護思想の普及宣伝



パンフレット・チラシの作成配布 街頭パレードへの協力

“社会を明るくする運動”を中心とする犯罪予防活動に協力し、更生保護思想の普及宣伝に努めます。

犯罪の予防及び犯罪者の改善更生に関する調査研究



犯罪予防等の専門家に調査研究を依頼し、犯罪や非行をなくすための方策などを、あらゆる面から追求します。

うようになってきた。

自分も、現役時代の後半はクライオセラピーのお陰でやり続けられた。日本ではまだそんなに広まっていないが、既に金メダリストとかプロゴルファーとかサッカー選手などが利用している。

クライオセラピーは1978年、日本でリュウマチの治療のために開発されたが、昔は冷やすということが認知されなかったので、欧米でまず評価され、日本に逆輸入されるという経緯となっている。

——欧州の印象派に影響を与えた浮世絵が、日本で再評価されたような話だ。

そうだ。早すぎたというものもある。

——座右銘は。

「勝者のみが報われる」

そもそもネイビーシールズ（米海軍特殊部隊）の言葉だ。

特殊部隊なので、とても厳しい訓練が科せられる。その訓練のモットーが、「勝者のみが報われる」で1位のみが椅子に座って休憩でき、2番は負けの1番でしかない。それがボクシングに通じるものがあった。

プロボクサーの世界は、負けたら何もし

ない世界。負けを知っているからこそ、明日はないという気持ちでずっとやってきた。

勝たなければ、どんなにつらい練習をしても厳しい減量をして、流した汗も涙もすべてが報われない。

——ボクシングというのは一発のパンチで天国の門を開けたりもできれば、地獄の底に落ちる。そうしたシビアな世界に20年も生きてきた。心掛けてきたことは？

ダウンしないこと。

倒れないこと。

ジムの看板を背負ってるつもりでやってきた。

KO負けはしないという意気込みはずっと持ち続けてきた。

——KO負けはこれまでなかった？

一度もない。

——どんなボクサーもKO負けはしたくないと思うのだからけど、実際に一度もないというのは？

パンチを受けて効いたことはあるが、決して倒れなかった。倒れないという強い気持ちだけは持ち続けてきた。

——まだ朝のランニングは続けている？

前のような10キロ、15キロといった長い

距離はなくなったけど、ロードワークという習慣だけは続けている。

試合はなくても走るということは、日課になっている。

——走らないと朝、起きた気がしないとか？

そうだ。

歯磨きをしていない、そういう感覚だ。

——元旦でも？

そうだ。毎年、よく走る。

誰もいない商店街とか走ると、爽快感がある。

——これからは試合よりもビジネスのリングに上がる？

今、こうして、ダメーシなく現役を20年も続けられたことに感謝している。

最後の試合は地球の裏側のドミニカ共和国で、周りに支えられ、日本人初のカリビアンタイトルまで獲得できた。

ボクシングの世界チャンピオンにはなれなかったけど、今度は闘う舞台が変わった。

現役時代を支えてもらえたクライオセラピーで新たな世界チャンピオンを目指していく。



自民党

茂木敏充幹事長

記者会見

で勝利を獲得したいという話がありました。

また、本日、再び、北朝鮮が弾道ミサイルを発射したことに厳重に抗議を行い、強く非難する。オミクロン、感染が急拡大する中で、病床がひっ迫しないよう、細心の注意を払ってかじ取りを行っていききたい。

ワクチンの3回目の接種、それから接種の前倒し、濃厚接触者の待機期間の短縮等々に触れた上で、最新の知見に基づいて対応を進化させていくという話がありました。重層的に対応して、国民の安心安全を確保していききたい。

コロナ以外にも、日本経済再生の要である新しい資本主義や外交・安全保障、憲法改正など、課題が山積している。しっかりとそういった課題に添えていきたい。また、これらの政策課題に加え、統計問題はじめ、自ら襟を正して国民の信頼を得られるように取り組んでいく。党においても、茂木幹事長の下で、責任政党として、しっかりと党改革を進めても

りたいという話がありました。

その先に、参議院選の勝利、そして、安定政権の確立がある。政治が安定することによって、様々な課題について結果を出す。結果を出すことによって国民の信頼をさらに厚くし、政権基盤を安定させていく。こういう好循環をつくっていききたいという話がありました。政府・与党一体となって、この通常国会を乗り切りたいという話がありました。

遠藤選対委員長からは、昨日から名護の市長選挙が始まった。わが党と公明党が推薦する現職と、野党勢力が推薦する新人との一騎打ちの構図となつて、激戦が繰り広げられている。わが党は、現職の渡具知武豊市長再選に向け、選挙運動を積極的に展開していききたいという話でした。

高市政調会長からは、北朝鮮の弾道ミサイルの発射について、会議を開くという報告がありました。また一昨日、トンガで大規模な噴火があり、わが国でも津波が観測されました。今後も噴火の可能性は否定できないので、災害対策特別委員会を中心に、状況を注視していききたい。

【記者】今日の岸田総理の施政方針演説に

茂木敏充幹事長



ついて伺います。新型コロナの対応ですが、新しい資本主義に多くの時間を割かれていましたけれども、幹事長はお聞きになつてどのような感想を抱かれましたか。

【幹事長】勝海舟の思いというか、決意を引きながら、非常に力強い演説であつたと思つています。コロナ対策について、状況の変化に応じて機動的に対応していくという政府の対応について非常に分かりやすい説明であつたと思つていますし、また経済の再生が極めて重要であつて、そのために新しい資本主義を起動していくという強い決意が示されたのではないかなと思つています。初めての施政方針演説ということで、まさにこれから国会に向かつていく、また日本が直面する様々な内外の課題に先頭になつて取り組んでいく、こういう強い思いが込められた演説であつたと思つています。

【記者】公明党の石井幹事長が先週の会見で、参議院選挙での自民党との選挙協力について難航していると発言されました。幹事長の受け止めと、党としての方針について考えをお聞かせください。

【幹事長】参議院選挙の色んな準備であ

りますけれども、これは全体的に、昨年10月に衆議院の選挙もあつたことがあつて若干ずれ込んでいる状況だと思つています。わが党でも、1人区に関して、まだ10の選挙区で候補者が未決定です。作業をスピードアップして来月中には出来る得れば、宮城の場合は特殊な事情があるのですけれども、選挙区での擁立の目的を立てていきたいと考えています。公明党の方は、比較的準備について少なくとも候補者の擁立については各党の中でも一番順調に進んでいるのではないかなと考えていますが、自公の選挙協力はこれまでの積み重ねもあるところでして、5つの選挙区で推薦を出すということについて、今、遠藤選対委員長が当該支部連合会と調整を加速しているところですので、私の方からもしっかりと調整を進めてほしいという話をしているところです。

【記者】新疆ウイグル自治区などの人権侵害行為を非難する国会決議案についてですが、本国会での早期採択を主張する党幹部もいますがどう対応されるお考えですか。

【幹事長】中国については、一方面的な現

状変更の試みの問題がある。国際的なルール、スタンダードに則った責任ある行動を取つて欲しい。更には人権状況等々、懸案事項についてはしっかりと問題提起をして直接中国の行動を改めるよう、これまでも働き掛けをやってきました。ご指摘の国会決議ですが、まず関係者、熱心に取り組んでいらつしゃつてくれる方がいるのですけれども、関係者だけではなく、各党において党内手続きをしっかりと終えていただくことが決議を採択する前提になりますので、そういった作業を進めてもらつて各党が合意して採択に繋がればと考えています。

北朝鮮 1・5

【記者】北朝鮮についてですけども、今後、党として何か対応されることがあれば、教えてください。

【幹事長】党としても連携をしながら、また政府の対応についてしっかりとバックアップをしていきたいと思つています。いずれにしても、発射されたもの、飛翔体がミサイルであれば、国連安保理決議に違反し、地域の平和と安全を脅か

す暴挙でありまして、断じて許容されるものではないと考えております。

【記者】参議院選について伺います。今、公認候補者の選定が進んでいると思いますが、いつまでに全体の候補者を選定するご予定であるのか、また勝敗ラインについても幹事長のお考えをお聞かせください。

【幹事長】地域によっても事情が違って

自民党の茂木敏充幹事長は会見で、人権侵害行為を非難する国会決議案の取り扱いについて質問され、「各党の党内手続きを終えることが採択の前提」とし他党の遅れが原因で採択が先送りになっていると語った

が、政府・与党のブレーキこそが原因だろう。

者ム
記コ

非難される骨抜き決議案

決議案の内容も、当初、中国に対する批判が中核にあったが、公明党とのすり合わせの過程で、中国の国名が外され、「人権侵害」を「人権状況」に修正、さらに「非難決議案」から「非難」を削除するという骨抜き案になった。

この案は中国の新疆ウイグル自治区などでの人権侵害行為を非難するはずのものが、2国会で採択が見送られてきた。その背景に、自民党内の親中派や公明の反対があったからだ。昨年の通常国会で

盟」会長）や超党派の「日本ウイグル国会議員連盟」の古屋圭司会長、「日本チベット国会議員連盟」の下村博文会長らが、茂木幹事長に採択を申し入れたが、「タイミングが悪い」と拒否された。

も、新疆ウイグル自治区の当局者らに制裁を科している欧米諸国から非難されることは避けられまい。中国からも嘲笑されよう。岸田首相は「対中非難」決議を、対日非難の材料にされる愚を犯すのか。

立憲民主党

泉健太代表

記者会見

CLPへの資金供与 1・7



泉健太立憲民主党代表

【代表】チューズ・ライフ・プロジェクト（CLP）に関してですが、私からも幹事長を中心に調査するように指示しています。調査中であって、コメントさせていただく内容は今ない状況です。事実関係の確認が終わり次第、幹事長から説

明かせていただきたいと思います。【記者】福山前幹事長も、CLP側も支援、資金提供があったことは認めています。代表はどのような問題点等があるとお考えですか。また、本件について発覚前に既にご存じでしたか。また、現時点で把握している限りで、メディアや団体・個人に対する同様の支援をされている事実があるのか、把握している範囲で結構です。伺いたい。

【代表】発覚前に知っていたかどうかという点、知らなかったです。少なくとも現執行部において、そういったことが行われていることはございません。

【記者】今、類似する団体の献金は確認されていないことですが、例えば令和2年の政治資金収支報告書、立憲民主党を見ると、「SEALDs」（シールズ）のメンバーでつくるブルージャパンに3億4591万8640円のお金が渡っています。作家の菅野完さんが代表を務めるコーポレーションにも752万3010円が行っています。こちらへも調べた方がいいのではないかと思いますか。

ころ、北海道、それから千葉、東京、そして神奈川、このツープайフォーでどう勝ち切っていくか、このことが極めて重要である。こんなふうと考えておりますが、党としては当然、党が公認する全ての候補者の勝利に向けて全力で取り組みたいと考えておりますが、安定政権を維持すると。そのもとで様々な課題にしっかりと対応し、結果を出していく。

【代表】一度、立憲民主党が解散され、一昨年の9月に新たな政党として同じ名称の政党ができ上がりました。ここは会計を引き継いでいません。令和2年ということになる、私が所属しているのはこの新立憲民主党になるわけですが、幹事長からはそういったことについての調査の報告はまだ上がってきていません。

いろいろな制作会社、業者に対して党として番組をつくってほしいとか、コンテンツをつくってほしいとかは当然あり得る話だと思います。そのコンテンツ制作にお金を支払われるというのは、当然であると思います。お話のあったブルージャパンとかコーポレーションにおそらく発注したもののというのは、何かしらのコンテンツをつくるためのものだったのではないかと考えています。

【記者】公的な金がブルージャパンを通じていつている。これは返してもらおうということだったのか、それとも差し上げたということですか。それと、非常に評判が悪かったこの第4控室のヒアリングのことで、菅野さんのところに金がいっていると。石垣（のりこ参議員）さ

んのところについているわけですね。そのスタッフと思われる人たちがずっと中継をやっていたが、そういったことの収支決算とかはできていますか。

【代表】少なくとも、現時点で幹事長に調査をしていただいていますので、できる限り早期に幹事長から説明をさせていただくという中で考えていきたいと思えます。

【記者】CLPについて、あまり耳にしたことのない事案だとおっしゃいました。一般論として、特定のメディアに対して番組制作など資金提供することについてのは是非、これは国民の理解を得られるかどうか、についてお考えを伺いたい。

【代表】このCLPが発足当初にどういう存在であったのか。公共メディア、あるいはメディア、それともメディアではないというとおかしいですが、例えばYouTubeとかチューブチャンネルとかツイッターとか、いろいろな形態の発信者がいると思います。現時点では、私もCLPが「公共メディア」というふうになつていかれたということまでは認識しているのですが、それ以前、どうい

う形でスタートされたのかについては、まだ認識していない状況です。

【記者】国民の理解が得られるかどうかは。

【代表】前提が、それは一般メディアという理解でいいですか。例えば新聞社とかテレビ局とかに政党がお金を出すことについてどう思うかということだとすれば、基本は、そういった一般メディアに対して政党が資金を出すということは今まではなかったのではないかと思います。

【記者】これまで立憲民主党は、自民党安倍政権とかの「政治と金」の問題について厳しく追及しましたが、ブーメランとなつて刺さってきていると言われている。その追及以上に自分のところについてはさらけ出して「こういうことだ」と国民に示さないと国民の理解は得られないと思います。これは先ほどおっしゃった幹事長の調査のみで済ませられるのか。場合によっては第三者委員会みたいなところで調査も必要ではないかと思いますがいかがですか。

【代表】必要があればそういったことは

考えていきたいと思っています。

【記者】今回のCLPの問題は、「資金はもらっていたが黙っていた」ということに問題があると出演者の方々は主張されていると思います。一般論として、そういうふうには受け取っているにもかかわらず黙っていたということについて、代表としてはどうお考えですか。

【代表】党の側で言うと、資金の支出のところでは黙っていたというものは、ですね。ですから、黙っていたとか隠していたという認識が党の側にあつたのか。いずれ会計文書としては出てくることを考えると、隠している意図はなかったのではないかと推察されます。少なくとも、会計に載せなかったとか、そういうことをやっていなかったということではない。

予算委員会に臨む 1・21

【代表】代表質問の中で総理に離婚家庭への10万円給付を伺った。

推計4万人として40億円となる。

クーポンで事務費が900億円かかるといわれていたものが、我々の追及、指

摘によつてこれが必要でなくなつたわけだから、そういうお金を代わりに使っていくことも十分可能だ。

昨年末、党に調査会を8つ設けた。さらに、私が掲げてきた普通に安心が得られる社会とか、人にやさしい資本主義、こういうものをわれわれのビジョンとしてさらに深掘りしていく意味を込めて、

党に持続可能な社会ビジョン創造委員会を発足させたいと思っている。

第1回目を1月28日に行う。

【記者】予算委員会にどう臨むのか。

【代表】国会の会期150日、その中で通常、100本近い提出法案が出る。その中で提出法案が50本台とかなり少ない。国会をどれほど議論の場として政府

与党が考えているのか問われると思う。

国会閉会中に政府与党が様々なことを決めていく。これは国民の監視を経ずに行われてしまう可能性がある。

だから国会が開かれた時には、政府与党の考えを与野党の論戦を通じて、国民に広く知ってもらい結論を出していくというのがあるべき姿だろう。

立憲民主党の西村智奈美幹事長が12

日、同党から「特定のメディア」である「チューズ・ライフ・プロジェクト（CLP）」に約1500万円の資金提供をしていた問題について、「不適切だったが違法性なし」とし、当

時の責任者だった福山哲郎前幹事長に対する処

者ム
記コ

解明されない党の資金疑惑

分はしないことを明らかにした。泉健太代表の指示で西村幹事長が聞き取り調査などを行った結果に基づき記者会見で語ったものだ。党としては第三者委員会を設置せずに、これで説明責任を果たしたとして幕引きする考えのようだ。

いのは、かつて国会前などで安全保障関連法の反対を訴えるなどした若者左派団体「SEALDs」（シールズ）のメンバーでつくるブルージャパンに3億4591万8640円が渡っていることや作家の菅野完さんが代表を務めるコーポレ

ーションにも752万3010円がいつている、と指摘された件だ。

もつと多額の資金が流れていることも12日の会見で記者側から出たが、使用道についての疑惑を晴らそうとしない。西

村幹事長は、個別の事業者とのやりとりについては取引内容にかかわることなので詳細に触れない

とし闇に葬りたい考えのようだ。一方で、この問題に似た自民党の「Dappi」疑惑については追及を止めないという。ブーメランが突き刺さっているながら批判を続けても支持率アップにはつながるまい。



岸信夫防衛相

記者会見 1・6

北朝鮮ミサイル発射

【大臣】 昨日のミサイル発射事案についてです。現時点までに得られた諸情報を総合的に勘案しますと、北朝鮮は昨日8時7分頃、北朝鮮の内陸部から1発の弾

岸信夫防衛相



道ミサイルを東方方向に発射しました。通常の弾道ミサイルよりも低い最高高度、約50キロ程度で飛翔したものとみられます。飛翔距離は、通常の弾道軌道だとすれば約500キロであったものと推定され、わが国の排他的経済水域外に落下したものとみられますが、詳細については引き続き分析中であります。なお、今朝の北朝鮮メディアにおいては、「極超音速ミサイル」の試験発射を行った旨が報じられていると承知をしております。この点、今回発射されたミサイルの弾種については、所要の情報を基に総合的・専門的な分析を行う必要があります。現時点で確たることを申し上げることは差し控えますが、その上で、これまで北朝鮮により発射されたことのない新型弾道ミサイルであると考えています。これまでの弾道ミサイル等の度重なる発射も含め、一連の北朝鮮の行動はわが国と地域の平和と安全を脅かすものであり、わが国を含む国際社会全体にとつての深刻な課題です。また、このような弾道ミサイル発射は、関連する安保理決議に違反するものであり、極めて遺憾であります。防衛省

としては、北朝鮮の軍事動向について、引き続き米国等と緊密に連携しながら、必要な情報の収集、分析及び警戒監視に全力を挙げ、わが国の平和と安全の確保に万全を期してまいります。

【記者】 先ほど大臣、新型のミサイルだったということで、明日、日米「2＋2」が開かれるこういったタイミングでの発射をどう考えかをお聞かせください。

【大臣】 北朝鮮の意図については、私からコメントすることは差し控えています。ただきたいと思います。いずれにいたしましても、地域及び国際社会にとって大きな課題であると考えております。様々な議論がされることも考えております。

【記者】 北朝鮮は昨年の9月28日に極超音速ミサイルを発射したと発表しておりますけれども、先ほど大臣の発言の中で、新型のミサイルというお話しでしたが、これとの関連についてはどのように分析されておりますでしょうか。

【大臣】 昨年9月28日に発射されたもの、詳細については今後さらに分析する必要がありますと考えています。現時点では、9月28日に発射したミサイルとは別の新型

北朝鮮が極超音速ミサイルと主張する1月5日発射の弾道ミサイル



ミサイルであると推定をしております。

【記者】 北朝鮮側の発表ですと、700キロ飛翔したというふうに言っておりますけれども、日本側の現時点での分析では500キロというのは変わっていない

という理解でよろしいでしょうか。

【大臣】 我々の分析では500キロと考えておりますが、現在さらに分析をしております。

【記者】 同じく北朝鮮の報道ですと、120キロ側面機動したというような言い方をしておりますが、恐らく水平方向への移動だと思われますけれども、そういった分析というのは防衛省の方ではされていらっしゃるのでしょうか。

【大臣】 そういったこともこれからの分析が必要だと思います。

【記者】 しないというふうに認定しているわけでもない、ということですか。

【大臣】 分析をする必要があると思います。

【記者】 一点確認ですが、極超音速ミサイルである可能性は排除はしないということでしょうか。

【大臣】 今のところですね、我々は弾道ミサイルであって、通常の弾道の軌道であれば500キロ飛翔したというふうに推定をしております。

【記者】 可能性については。

【大臣】 これから分析を進めるところで

あります。

【記者】 ミサイルの発数は1発。

【大臣】 1発。

【記者】 一部分離したかどうかというのはどうでしょうか。

【大臣】 今、我々の分析によりまして、1発の弾道ミサイルということであります。

【記者】 去年の9月28日の発射ですが、この発射については、北朝鮮がいうように極超音速ミサイルだったというふうに防衛省の方でも分析されているのでしょうか。去年の9月28日の話です。

【大臣】 9月28日についても、弾道ミサイルの可能性という分析をしております。

【記者】 それは変わっていないということですね。

【大臣】 はい。

【記者】 安保理決議違反ということですが、けれども、政府として何らかの抗議などはないのでしょうか。

【大臣】 しております。大使館ルートを通じて抗議をしておるものと承知をしております。

林芳正外相

記者会見 1・7

日米「2+2」

【大臣】今年もよろしくお願いいたします。

私から、「2+2」でございますが、今朝、ブリンケン（国務）長官、オースティン（国防）長官及び岸（防衛）大臣と、日米「2+2」をテレビ会議形式で開催し、大変充実した意見交換を行うことができました。

日本を取り巻く戦略環境が厳しさを増

林芳正外相



す中、日米同盟は一層重要となっております。日米両政府は、それぞれ国家安全保障戦略を始め、戦略文書の見直しを進めております。日米同盟をいかに進化させるか、現在、そして将来の挑戦に効果的に対処し続けるかについて、重要な議論ができたと思っております。

本日の「2+2」で、大きく以下の3点の成果があったと考えております。

第一に、変化する地域の戦略環境に関する認識を、丁寧にしり合わせるための突っ込んだ議論を行うことができたと考えます。特に、ルールに基づく秩序を損なう中国の取り組みが、様々な課題を提起していることへの懸念を共有し、日米が地域における安定を損なう行動を共に抑止し、必要であれば対処することを決意いたしました。

地域の平和と安定を更に損なう中国の東シナ海における活動に対する懸念や、尖閣諸島に対する現状変更の試みや日本の施政を損なおうとする一方的な行動に、日米で引き続き結束して反対することを確認をいたしました。南シナ海における主張や活動への強い反対についても

確認をし、また、新疆ウイグル自治区及び香港の人権問題に関しまして、深刻かつ継続している懸念を確認しました。更に、台湾海峡の平和と安定の重要性を確認いたしました。

更に、北朝鮮についても、5日の北朝鮮による弾道ミサイルの発射を始め、北朝鮮の核・ミサイル活動について、強い懸念を共有するとともに、安保理決議に基づき完全な非核化、拉致問題の即時解決等について米国と完全な意見の一致を見たところでございます。

第二に、日米同盟の抑止力・対処力の抜本的強化に向けて、具体的な議論を進めることを確認いたしました。米国から、強固な拡大抑止に対する揺るぎないコミットメントや地域における態勢・能力の強化への決意表明がございました。また、日本としても、国家安全保障戦略の改定等を通じて、自身の防衛力の抜本的強化を行う旨を説明し、米国から力強い支持の表明がありました。

更に、宇宙サイバー分野での協力深化、新興技術を取り込む技術協力の推進、情報保全の一層の強化など、日米同盟の優

位性を将来にわたって維持するための基盤を整備し、投資を行っていくことの重要性につき一致をいたしました。

また第三に、日米同盟の抑止力を維持しつつ、沖縄を始めいたします地元の負担軽減を図ることの重要性についても一致をしました。普天間飛行場の固定化を避けるためには、辺野古への移設が唯一の解決策であることを改めて確認をいたしました。また、本年は沖縄返還50周年であり、沖縄統合計画に基づき、嘉手納以南の土地返還の取り組みの加速化に向けた連携を確認いたしました。

更に、私と岸大臣から、在日米軍による安全な運用、事件事故での適切な対応等についても、米側に改めて要請し、緊密な連携を確認しました。

また、最近の在日米軍の新型コロナ感染状況を踏まえ、在日米軍従業員を含めた地元の不安解消に向け、総理の指示を踏まえ、外出制限の導入を含め、感染症拡大防止の措置の強化と徹底を米側に強く求めました。

これに対し、ブリンケン長官から、日本側の要望は明確に理解をした、国防総

省や統合参謀本部とともに、日本における懸念を解消するため努力をしたい、また、オースティン長官からは、既にブリンケン長官から昨日の私とのやり取りの説明を受けている、地域住民と米軍兵士の安全を引き続き重視しており、軍指導部とも協議をしている、地域住民と米軍兵士の安全ほど重要なものはなく、そのためにできる限りのことをしたいとの返答がございました。

今回の「2+2」の結果、日米同盟の今後の取り組みの方向性を示す野心的な共同発表を发出をいたしました。また、今回の「2+2」の機会を捉えて、先ほど「在日米軍駐留経費負担に係る特別協定」及び「共同研究・開発に関する枠組み交換公文」に署名を行いました。いずれも、日米同盟の更なる強化に向けて重要な基盤を提供するものでございます。

今回の「2+2」での議論を踏まえ、岸大臣及びブリンケン長官、オースティン長官とともに、日米同盟のさらなる進化に取り組んでまいります。私からは以上です。

【記者】先ほど発表された「2+2」の

共同文書では、日本側として国家の防衛に必要な、あらゆる選択肢を検討する決意を表明したという趣旨が盛り込まれております。岸田首相は、いわゆる敵基地攻撃能力の保有について有力な選択肢だとの考えを示していますけれども、林大臣として、今後3文書の改定に向けて、どういう基本的な考えで検討されるか、お考えをお聞かせください。

【大臣】極超音速滑空兵器や変則軌道で飛翔するミサイル等、近年、ミサイル技術が急速なスピードで変化・進化をしておりますことから、我が国として、国民の命や暮らしを守るために何が求められるのか、ミサイルの脅威に対抗するための能力も含めて、あらゆる選択肢を排除せずに、現実的に検討していくこととしている旨、米国側にも説明をいたしました。日米で、このプロセスを通して緊密に連携をすることで一致をしておるところでございます。

また、戦略3文書でございますが、この日米同盟の抑止力・対処力の抜本的強化に関する議論の文脈で、日米双方の安全保障に関する戦略文書についても議論

が行われて、今後作成をされます日米それぞれの安全保障戦略に関する主要な文書を通じて、同盟としてのビジョンや優先事項の整合性を確保することで一致をしました。

【記者】「2＋2」の共同文書についてお伺いしたいんですけど、文書の中で、日本が今後、防衛力を抜本的に強化する決意を改めて表明したというふうにあるんですけど、今回の「2＋2」で文章の改定を含め、また、防衛費をこれから増やしていくような考えなどを、米国に日本側から伝えられたということがあるのかというのが1点と、もう1点、台湾海峡のところなんですけれども、昨年3月の「2＋2」で、まさに台湾海峡について言及があり、そのあと国際認識として広まっていったのですが、今回、台湾海峡の問題について、今、その中国の脅威であったり、この現状について、日米双方から具体的な言及があったのか教えてください。

【大臣】中国・台湾海峡ということですが、このまず地域の戦略環境の中で議論する中で、中国についても、じっくりと議論

を行いました。特に、日米間で、ルールに基づく秩序を損なう中国による取り組み、これが地域及び世界に対する政治的、経済的、軍事的及び技術的な課題を提起していることへの懸念を共有をいたしたところでございます。また、地域の平和と安定を更に損なう、中国の東シナ海における活動に対する懸念につき一致をいたしました。

また、安保条約5条が、尖閣諸島に適用されること、また、尖閣諸島の現状変更を試みる、あるいは、同諸島に対する日本の施政を損なおうとする一面的な行動に、日米で引き続き反対することを確認したところでございます。

地域の戦略環境について議論をする中ですが、台湾をめぐる状況についても議論が及びまして、米国と、台湾海峡の平和と安定の重要性を強調するとともに、兩岸問題の平和的解決を促していくということでも、一致をしたところでございます。

【記者】防衛関連の共同研究・開発の協定について伺います。共同文書には、極超音速技術に対抗するための将来の協力

という文言が盛り込まれましたけれども、これは、極超音速ミサイルを迎撃するためのものなのか、また、そのミサイルを保有するための研究なのか、先ほど包括的に、というお言葉もあったと思いますが、改めて、その目的について伺います。

【大臣】従来、我が国政府は、我が国の防衛能力を強化するために、いわゆるMDA協定、「日本国と米国合衆国との間の相互防衛援助協定」の下で、米国との間で、共同研究・開発・生産等を実施してきたところでございます。

今回の交換公文ですが、MDA協定に基づく日米間の共同研究・開発、それから生産等の案件一般に共通する諸条件を規定する枠組みを設けておくことで、共同研究・開発・生産等に関するプロセス、これを一層合理化するものであります。日米間で協議を行った結果、先ほど申し上げましたように、本日、私とグリーン駐日米国臨時代理大使との間で、本交換公文への署名を行ったところでございます。

末松信介文科相

記者会見 1・18

佐渡金山の世界遺産推薦

【記者】外国人留学生の件について伺います。国費留学生87人の来日が、認められることになりました。留学生のみの特例となったことについて、大臣の考えをお聞かせください。

【大臣】留学生を含みます外国人の新規入国停止につきましては、当面2月末まで、その骨格を維持する一方で、「特段の事情」によります新規入国につきまし

ては、人道上・国益上の観点から必要な対応を行うこととされてございます。総理ともいろいろ話もいたしました。留学生の受け入れは、諸外国との友好関係を構築をし、我が国の教育・研究力の向上や更なる発展に資するものでござい

ます。特に国費留学生は、より高度な外交及び教育・研究の観点から我が国が招いている方でございます。今回、そうした国費留学生の中でも、卒業・修了まで1年未満となっているなど、個別の事情を勘案した結果、必要な防疫措置を講ずることを前提とした上で、87名の方につきましては、入国が認められたところでございます。私といたしましては、外国人留学生の新規入国の停止は、外交や教育・研究分野のみならず、地域社会や経済にも大きな影響を与えているものと認識をいたしてございます。政府方針を踏まえつつですね、少しでも受け入れを進めるための対応策を検討するよう指示をいたしております。引き続き、外国人留学生の声や現に生じている課題を共有しながら、個別の事情を勘案しつつ、留学生の新規入国に向けまして、関係省庁と調整

をしつかりいたしてまいりたいというふうに思っております。留学生の入国の機会は、そういう意味では、かなりの期間お待たせをいたしておりますし、我々、願うところでございます。

【記者】新潟県の佐渡金山と世界遺産の推薦の件について伺いいたします。ユネスコへの推薦状の提出期限が、来月2月1日に迫っております。以前ご回答いただいたときは、政府内での総合的な検討をされているというふうにお伺いしました。現在の検討状況について教えてください。あと、その検討は、デッドラインが決まっていますが、いつまで検討していつまでに判断を下される見通しなのかという点もお伺いします。お願いします。

【大臣】前回申し上げましたのですが、今年度、世界文化遺産の国内候補の選定につきましては、文化審議会が文化遺産としての価値の観点から検討を行いまし、年末の12月28日に、佐渡金山を推薦候補として選定する旨の答申がなされてございます。これを受けまして、今、政府内で総合的な検討を行っているところ



国内外の中小企業の異業種交流を 目的とした15,000社の経済団体です。

当会顧問団がサポートします。

■顧問構成一顧問団 CLASSIFICATION - CONSULTANTS

専門別分類 Specialists Category	No. of members	業務別分類 Classification
・弁護士 Lawyer	100名	・経営 Management
・公認会計士 CPA	100名	・能力開発・教育・研修 Training & Education
・弁理士 Attorney	50名	・人事・労務 Human Resources & Labor
・経営コンサルタント Business Consultant	80名	・財務・会計・税理 Finance, Accounting & Tax
・不動産鑑定士 Real Estate Appraiser	59名	・法律 Law
・医師 Doctor	105名	・特許・許認可 Special Permission & License
・技術士 Technician	43名	・建築・設計・不動産鑑定 Construction, Design, & Real Estate
・税理士 Tax Accountant	100名	・マーケティング Marketing
・社会保険労務士 Social Insurance Specialist	87名	・生産管理・生産技術・設備技術 Product Development, Technology & Mgt.
・一級建築士 First-class Builder	174名	・研究開発・先端技術・学術・技術 Research & Analysis
・司法書士 Judicial Scrivener	64名	・EDP・通信・ソフト開発・DB・SIS Communication, IT, PC Software R&D
・行政書士 Administrative Scrivener	55名	・国際ビジネス World wide Business
・コンサルタント, Consultants & Coordinators	161名	・教養・芸術・生活・マナー・スポーツ Art, Hobby, Sports,
コーディネータ for Education and other		・医療・健康 Health & Medical information
教育等、各種専門家 Specialists.		



日本経営者同友会

JAPAN ENTREPRENEURS
&
PRESIDENTS ASSOCIATION

東京都千代田区神田錦町三丁目二番地

TEL. 03-5280-6222(代)

●資料請求・お問い合わせは、上記までお気軽にご連絡下さい。

者 記 コ ラ ム

世界遺産で首相の求心力低下か

文化審議会が文化的・学術的な価値を認めて、世界文化遺産の国内推薦候補に選んだ「佐渡島の金山」。日本政府はユネスコへの推薦を見送りする方針（1月21日現在、推薦期限は2月1日）だが、この筋の通らない判断によって、岸田首相の求心力が低下するかもしれない。

外務省に推薦慎重論が広がったのは、韓国政府が戦時中に朝鮮半島出身者らへの「強制労働」があったとし撤回を求めてきたからだ。今回推薦しても登録の実現は難しいからだという。しかし、推薦内容は韓国からの反発を予想して「江戸時代まで」に区切っており、強制労働とは無関係。

一方、「世界の記憶」（世界記憶遺産）の申請登録に際し、当事国による意義申立制度を設け合意しない限り申請しない制度を、日本が主導した経緯もある。その手前、

韓国が合意しない推薦はできない、としてブレーキが働いたことがうかがえる。しかし、これについても記憶遺産と文化遺産とは別の枠組みで、推薦見送りの理由としては説得力がない。

結局、外務省は推薦しても登録は難しい、と現実的に判断したのだろうが、推薦を見送れば、韓国側の無理筋の話を認めたと受け取られるのだから、野党はもとより自民党の保守派からも、政府の慎重姿勢に批判が強まるのは避けられない。

でございませう。いつまでということ、2月1日は当然なんですけれども、一つのラインになってはまいりますけれども、そのことも念頭に置きまして、今、今日も政府とは関係ないんですけれども、聞き及ぶところ、ある党ではですね、今日いろんな議論も行われるというふうに聞いてございませう。しかし、それとは別に、今、積極的に、関係省庁とも、その辺りのことにつきましては、真剣な検討、議論がなされておりまして、ここで今ちょっと発言をすることは控えさせていた

きたいというふうに考えてございませう。2月1日というのは一つのラインであることはお認めするところでございませうけれども、これはやはり、出していく以上ですね、しっかりと先まで考えていく必要がございませうですね。本日に、文化審議会の答申されたことは、大変喜んでございませう。

【記者】文化審議会では、今ほどおっしゃいましたが、遺産の文化的価値・学術的な価値については、もうご検討、判断がついていると思います。それ以外の総合的な判断というか検討というと、政治的な判断のこのように思われます。そうした、既に省内で認めた文化的・学術的な価値がですね、そうした政治的な事情でですね、ひょっとしたら認められないかもしれないという状況について、文科省の大臣としてはどう思われますか。

今年是不動産開発の年

生産緑地法改正で弾み

高止まりが期待される不動産市況だが、今年はトピックス的に上振れが期待されそう。30年ぶりに生産緑地法改正が行われ、緑地が宅地に変更できるようになることで市場活性化が見込めるからだ。（株）エーシークリエイイトの金川彰・代表取締役役聞いた。

――不動産業のメイン業務は？

弊社は建築、売買、管理を行う総合不動産だ。

特に強みなのが、所有者から直接来る、年間7000件ぐらいの売却依頼に対応し、元付けとして投資家、業者へ紹介していることだ。

さらに戸建てやアパートなど開発にも着手し、管理自体も1800戸程度を管理している。

首都圏中心に、不動産といわれるものはすべて扱っている。

区分マンション、戸建て、一棟マンション、一棟アパート、山林含めた土地などすべてだ。

年商はグループ38億円、来期は50億円を目指している。

――今年の不動産の売れ筋は？

好調だ。今年は分譲ファミリーマンションだろう。当社が扱う7000件のう

ち、約6割がファミリーマンションの査定が多い。

リーマンショック後の物件の所有者たちが高齢になってきて、オーナーの資産整理などの相続者たちが多くなってきた。

住宅控除の要件変更だったり住宅ローンが1%以下で借りられるので、そこで一気に需要が高まってきたのかなと思う。

月決済ベースでいうと、60件から70件といったところだ。

――顧客もネットから？

顧客様は反響営業が主になっているが、無論、電話やラインなど、すべてお

客さんに応じて対応させてもらっている。

オンラインが普及してきたので、東京の物件でも遠方の北海道から問い合わせがあっても、オンラインで顔合わせできるようになった。

ホームページを見れば顔写真ぐらいはあるが、会社の名前をいったところで、どんな子か分からない。

そもそもそういう人に自分の大事な資産を任せられるかといった基本的な問題があったが、ズームだったりオンラインが普及して、助かっている。

一昨年ぐらい前からコロナの影響もあって、接触自体が避けられがちだったが、契約も契約書を送って、会わないままできる仕組みが出来上がりつつあり、やりやすい環境が整いつつある。

オンラインが普及して、テレワークだったり、在宅率が高くなったので、正直、お話できる時間が増えた。ITの大波を体験できた昨年1年間は、いい経験になった。

不動産とITがうまくマッチングしてきた感がある。国の行政もうまくかみ合ってきた。

――今後も好調か？

正直近年は、首都圏で災害や地震などのニュースで取り上げられて怖いなど思うことはある。

うちは川上の情報を得ているスキームなので、ずっと維持出来ると自信がある。

――川上情報とは？

所有者様から直接物件を預かる事だ。C2C（個人間取引）、C2B（個人が企業に対して商品やサービスを提供するビジネス形態）が可能といったところだ。大手不動産屋含め200社以上に物件を卸している。

――これからの不動産市況は？

大局的には、しばらく高止まりが続くだろう。

下がる要素がなく横ばい状況だが、それでも今年はトピックス的に上振れが期待できる。

22年は不動産開発の年になる。というのも今年は30年ぶりに生産緑地法が改正されることになっており、緑地が宅地に変更できるようになり、二束三文の土地が化ける。すでに大手はほとんどの有力緑地に手を打っており、大金を手にする



かながわ しょう 1988 千葉県生まれ。聖進学院卒。アジアクリエーション協同組合設立、現在は特別顧問。（株）エーシークリエイイト設立、代表取締役。日本経営者同友会特別会員。

農家が多い。

——アグリ事業の理念とは？

アグリ事業の理念は2つのNに尽くすことだ。日本と地方農業のNがそうだ。90年代以降、活力を失い、世界の地位も下落一途だ。特に地方の疲弊は著しく、人口減少で地方存亡の危機に瀕している。日本を活性化するキーワードは、ローカルだと思う。

私は、そのローカルに着目したい。

ローカルには日本の宝がまだしっかり残っている、この宝とは、日本人が連続と紡いできた逸品の農作物だ。

この宝である地方産品を子々孫々伝えていくことに尽力したい。

その地方の活性化は、この一次産業を豊かにすることを抜きには考えられない。

農業の活性化を促し、日本を元気にする事業を確立したい。

——アグリ事業の最新トピックスは？

N T Tドコモ・暗号技術とAIを活用した高品質の野菜の栽培実験を「畑アシスト」で開始した。

高い生産性と持続可能な農業を実現する次世代施設園芸だ。

わが社がその作物の物流を担当する事になりそうだ。

——アグリ事業の強みは？

農家さんから集荷したものを仕分けして、トラックで提携先の大型量販店に卸しに行く。

野菜と果物はオールラウンドにさばく。冷凍管理もあるが、その日にとれたものをその日に卸すというのが、うちの強みであり特色だ。

農家のモチベーションを上げるために、消費者の声を届けるように工夫している。

これまで農家に消費者の声がまったく届くことはなかった。だからやりがいを感じられないし、モチベーションもあがらなかった。

かつ人手不足だし、台風とか天候が荒れてくるようになった。こうした負の連鎖が、地方の活力をそぎ落としていったように思う。

一番最初にやったのは、農作物をどういう思いで作ったかという、顔写真とか動画をつけて、スーパーの野菜売り場に置くようにした。

また、どういう風にして食べればおいしいかといった動画も、またQRコードを付けて、声を届け、双方向のコミュニケーションがとれるようにした。

声でモチベーションを上げていこうというのは、僕たちがやれるところだ。

さらに、農家の人手不足を補強していくことで、農家と若手ワーカーをマッチングさせ、日本の野菜を世界に売ってきたい。安心、安全の日本の野菜は世界的にみてもニーズは高い。

ただそれでも3、4年くらいまでずっと赤字だった。それがやっと昨年からは黒字になってきた。

アグリ事業では資金力があれば、人材も確保できるし土俵がぐっと広がってくる。

その意味で不動産事業は上場を目指していないけど、アグリ事業は上場を目標に据えている。

ただ、自社のみでは上場は難しいから、同じような企業とグループを作って統合を図り上場を目指すと思っている。自社単体でというより、仲間を集めてやりたい。

ガンは不良少年同様 愛情注げば更生する

医学博士・統合医療医師 小林常雄氏に聞く

我が国で死因トップのガンは、国民病となっている。2人に1人がかかり、3人に1人が死亡するとされる。

この確率は欧米と比較しても異常だ。何が異常事態を引き起こしているのか、医学博士・統合医療医師の小林常雄氏に聞いた。

——ガンというと、悪性腫瘍のイメージだが？

悪性腫瘍と名付け、ガン細胞は死ぬまで無制限に増殖すると思われてきたが、これは間違いだ。

そもそも悪性というレッテルを貼り付けること自体、人間に考える力を失わせる非科学的なごまかしがある。

ガンは悪性腫瘍で悪いものだから、手術による切り取りや抗ガン剤とか放射線

を使って死滅させるという発想が出たが、ガン細胞の生物学的な意味を正しく知る必要がある。

結論から言うと、ガンというのは確信犯的なマフィアではなく、更生可能な不良少年だ。不良少年というのは、ちゃんと正しい愛情を注げば立ち直る。

——ガン不良少年説？

ガン細胞は、実に簡単に正常細胞に戻る。

私が所属していた国立がん研究センタ

ーの放射線生物研究施設で1971年、ガン細胞と正常細胞のハイブリッド実験をやった。核ありのガン細胞と正常細胞の核抜きをくつつけると正常細胞ができる。核抜きのガン細胞と正常細胞をくつつけると、ガン細胞になるか死滅する。このことから、核の遺伝子は全く関与していない結果が判明した。

サザーランドはサイクリックAMPが

ホルモンのセカンドメッセンジャーとして働くことを証明して、ノーベル生理学・医学賞を受賞した。このサイクリックAMP（1mM）により、卵巣ガン細胞が正常繊維芽細胞に戻ることをシェイは50年前、発表している。サイクリックAMPは、免疫力を支える柱だ。

——もう少し詳しく？

細胞は、細胞内小器官のミトコンドリアが酸素を使って作るエネルギー物質ATP（アデノシン三リン酸）によって活動エネルギーを得ている。

しかし、ガンになると細胞は酸素呼吸ができなくなつて、ATP生産能力が落ちサイクリックAMPが減る。血中のサイクリックAMPが減れば、免疫が落ち分化誘導物質がなくなる。だから体の中でガンがどんどん増殖されるという構図だ。ガンの増殖とサイクリックAMPの相関関係は鮮明だ。

人体で重要な第一の分化誘導物質がサイクリックAMPであり、第2がビタミンAだ。

ガン患者のデータを、調査したことがある。判明したのは、ガンになる人はほ

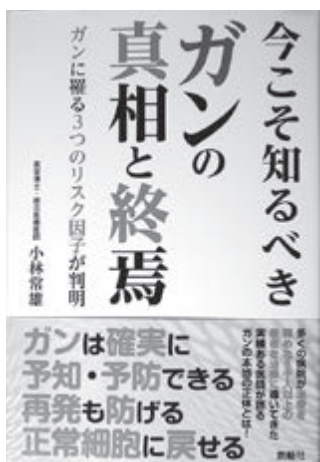
んど例外なくビタミンAが低い。そういうことがはつきりした。

特にビタミンAが際立って多い人は、ガンになつても重症にならない傾向がある。

乳ガン5期の患者を担当したことがある。5期というのは、手術も放射線もできない末期だ。肝臓に8割転移している患者だったが、毎週ビタミンAを投与し続けた結果、子供と海水浴に行けるまでに回復した。

米ではビタミンA誘導体が乳ガン治療で保険適用される。

保険医療の日本と比べると治療費が際立つて高い米だが、そのため予知・予防意識が高く、ビタミンに対する認識が日本の何倍も高い。



の方向にもつていけば、ガンが正常細胞に戻りやすい。

CTでは1センチごとに区切るから、8ミリを見落とすケースがある。画像診断に誤診が多い理由の1つだ。黄は4ミリ程度だ。

ガンを従来の画像診断ではなく、TMCA検査に変えれば、ガンの予知・予防ができるようになる。すなわちガンの第1次予防ができるようになる。画像診断や、病理検査にこだわらガンの第2次予

また高濃度ビタミンCが全てのガン細胞に効く事は、米国のガンセンターやライナス・ポーリングが20年前、証明済みだ。

——その他には？

ウイルスに対する抗酸化作用があるビタミンCや、ミトコンドリア機能を強化するビタミンDなどだ。身近な話をする。断食でサイクリック濃度は上がってくる。それで断食でガンが治ったという話が出てくるのも当然の話だ。

——近著の『今こそ知るべきガンの真相と終焉』では、ガンを検出できる腫瘍マーカー総合検診（TMCA）を書いている。

ガン組織というのは、胎児と全く同じだ。胎児は胎盤と絨毛血管で成長するが、ガンも同じようにガン組織細胞とガンのかん室、ガン血管の3つがあつて、育っていくというのがはつきりしている。普通の血管は杉の木のように伸びるが、ガン血管は千曲川のように蛇行して詰まりやすい。

TMCA検査では、これらの状態を特異マーカー、増殖マーカー、関連マーカーの3つで正確に検出する。

防に、固執しているから、ガンにかかる人を減少させられないばかりか、ガン死を減少することもできない。

これからは、画像診断から血清生検、血液検査に変更すべきだ。私が開発したTMCA検査は画像診断の100倍の精度で、今まで2万6千人の患者を救済した実績がある。

50年前、我が国のガン患者は米の半分の10万人だった。今では、米の2倍以上の42万人。世界平均の3倍だ。先進国の中でガン患者が増えているのは日本だけだ。このような現状を放置しているのは、国の安全、国民の命と暮らしを守る政治家、国民の健康を守るべき医者が無責任さの現れだ。

歴史観や国家観の定見もないまま、現状維持に窮々としているようではだめだ。現状をダイナミックに改革する政治家、医師の出現が待望される。

生前、日本医師会会長、世界医師会会長を歴任した武見太郎氏は「これからは薬や医者がいらぬ時代が来る。食が重要で、健康農業が重要だ」と述べていたが、参考にすべき言葉だと思う。



こばやし つねお 1944年、鳥取県生まれ。鳥取大学医学部卒業。国立がんセンター内地留学。東京大学大学院卒業、博士号取得。NHK治療ルポ「人間はなぜ治るのか？癌からの生還」で反響呼ぶ。『今こそ知るべきガンの真相と終焉』（創藝社）など著書多数。

JEPA委員
インタビュー ①

中国の野心、香港の次は台湾 半導体握れば世界一変

台湾に対する中国の挑発行為が、日常茶飯事になってきた。今秋の共産党大会で総書記続投を目指す習近平にとって、台湾併合は最大の政治課題だ。日本経営者同友会政経研究委員の兼子暁吉氏は「半導体を中国に握られると、すべてが一気に変わる」と懸念を隠さない。

——大局的に経済はどう動いていると見るのか？

世界経済は米中が中心にある。米経済はいいと思う。

中国は見えないところが多い。イーコマース（EC）市場は、毎年120%位伸びていて好調だが、国内経済が弱くなっている。

米中覇権戦争がどっちに転ぶのかが分からない状況の中、日本はどちらをとる

のか迫られることになる。

世界経済に左右される日本経済は、いい方向に向かっているのかどうか、まだ何とも言えない。

——中国は恒大集団の凋落があつたが、展望は？

恒大集団の債務不履行の影響というより、不動産市場が崩れることによって、中国国内の負のスパイラルが始まる懸念がある。

現在、キャッシュフローの面で始まっているとも見える。

ただ、2008年のリーマンショックのような世界的な株価下落・金融危機に陥ると思っていない。

——理由は？

確かにウォール街が資金を入れ上場させたりして、儲けてきたが、それだけじゃないと思う。

中国が持つ宇宙産業だったりIT産業など軍事産業を含め、そのパイは大きなものがある。

中国の産業力は、先端技術や資金を入れて、しっかり利益を出してきた。恒大が潰れても、それは一部分でそれが全部

というわけではない。

——米中新冷戦とも言われるが、その確執の本質は何か？

共産主義と資本主義のイデオロギーの違いだと思う。

——米国は共産党独裁政権の中国を崩壊させる意図を持っている？

米がそういう意図を持っているとは見えないが、中国の一路構想を阻止したいのではないかと思う。

——一带一路の戦略的目的は何か？

世界覇権を構築するためのステップだ。

——台湾海峡がきな臭くなってきた。

中国は沖縄を含め台湾を必ず取る気である。実際に香港は取った。

次は台湾が焦点となる。台湾はとても重要などころだ。とりわけ半導体がメインとなる。

その半導体を中国に握られると、すべてが一気に変わってしまう。

——半導体は21世紀の産業のコメだ。

軍事産業とかIT産業全部に使われる。

——台湾の地政学的価値は？

第一列島線の防御ラインに位置する要衝だ。

——中国はどう動くのか。孫子の兵法で

は、戦わず取るというシナリオがベストだが、どう読むのか。

台湾を政治工作でかく乱してくる。選挙で中国寄りの政権構築に加担し、橋頭堡を築く。それで統一に向け中台の政治決着に持ち込む。それが中国にとっての理想だ。

ただ何年か待っても、難しいようだったら武力で台湾奪取シナリオも考えておく必要があるかと思う。

——中国が持つ現在の武力は、台湾の後盾となっている米国の干渉をはねのけるパワーがあるとみているのか？

それは厳しいだろう。

だからこそ、中国とすれば米中の軍事的衝突ではなく、台湾を治めるために中国人民解放軍は必要だよねというところに持っていきたい意向がある。

——台湾側が人民解放軍に来てくれというふうに、持っていくということか？

そうだ。

台湾内部で内乱がおきたりとか、自分でその火種をまいて謀略をやるのが中国共産党のお家芸でもある。

——それではマッチポンプだ。



かねこ あきよし 1993年生まれ。静岡県磐田市出身。2016年、神奈川大学経済学部卒業。2016年、YON437株式会社設立。現在に至る。日本経営者同友会政経研究委員会委員。

銀行債務者の 権利保護のための法律を



銀行の貸し手責任を問う会
<http://www.kashitesekinin.net/>

そこまでの執念があるということだ。
——米経済はこれから金利が上がって
く。

今まで金融緩和策で、お金がじゃぶじ
ゃぶだった。

株高も低金利政策のおかげでという側
面があるが、それが全部でもない。

かなり大きな要因ではあっただろう
が、金利が上がっても、それでもこれか
らもつと高値を目指していいものいい
じゃないかと思う。

——米は成長産業を支えていく投資やイ
ノベーションをダイナミックにやる国柄
だ。

そうだ。インジェクションというか、
いろいろなものを取り入れて競争力を身
に付け、企業価値を高めていく手法はす
ごいものがある。それは企業買収であつ
たり形は様々だが、日本では企業の歴史
を大事にする風土があつて、乗っ取りと
かあまりなじまないのが事実だ。

米はそういう文化ではなく、今より明
日が大事。だからより短期間で、成長し
ようと努力を惜しまず、株価や時価総額
をより上げていくことへの執着が強烈

だ。

——四半期決算という短期決戦を迫られ
る米国型資本主義のバイオリズムがある
一方、中国は100年の計という歴史的
ダイナミズムも持つ。この異質な国同士
の米中確執は、何が勝敗を決める決定打
になるのか？

共産党がどこまでできるのかというの
と、どこで折り合いをつけてやめるのか。
ただやめるとは思えないので、習近平が
どこまで生きるかにもよるのかもしれない。

——中国のイノベーション力は？

ITに特化すれば、すごいものがある
のは事実だ。

ただ、中国人にゼロから1を生むイメ
ージはない。それでも1を100にする
力とか、1を別の1にする能力はたけて
いる。

元の技術は米から買収してきたりと
か、盗んできたのか分らないが、それ
を別の形にする力はある。

より早くて便利な進化系のものを作る
能力はある。

中国は現役世代がめちゃくちゃ若く、

発想が自由なのかもしれない。

——広州とか深圳といったIT系企業が
顕著だ。それは北京の政治的呪縛から離
れているメリットが活かされたようにも
思う。中国のイノベーション力をそぎ落
としているのは、強権を握っている共産
党独裁政権そのものでは？

強権を開発独裁的に利用して短期間で
インフラを整備したり成長企業を立ち上
げたりしてきた側面を見落としてはいけ
ないが、言論の自由を封じるような政権
に最終的なイノベーションのダイナミズ
ムを期待することはできない。政治的抑
制があると自由な発想は得られないし、
得られても限界がある。

そもそも企業を大きく育てても、最終
的には共産党のものになるような社会で
は起業精神もなえてしまう。

——政治家に対する注文は？

政治家として本当に何をしたいか、ま
ずはじっくり考えてほしい。

今は選挙を勝つための公約であつたり
とかのイメージがある。

本当に日本のために何が一番必要な
か考えてもらいたい。

マチ金的回収法を問う

地場産業育ててこそその金融機関

M&Aの強要

下地常雄氏は平成21年、久米仙酒造(株)の全株式を創業家から引き継いだ。

それは久米仙酒造が中国進出でとん挫したことで資金難に陥り、出資要請があったからだ。

下地氏がその出資要請を引き受けたのは、地域の産業振興により故郷の再建につながると思ったからだ。

だが現実には、銀行からとんでもない鞭を当てられ久米仙酒造は、存続の危機に立たされ続けることになる。

平成22年以降、沖縄銀行の法人部担当

だったK、S、Kが、創業家で当時の代表取締役平良正論輝に対し、「破産手続きに入るように」と強引に迫ったばかりか、社主となった下地氏の株主責任までも追及した。

結局、事業体再生どころかM&Aを強要することで、老舗の久米仙酒造が新興酒造会社吸収合併されるシナリオが描かれるようになった。

これでは銀行による融資先の企業から債権回収を優先する貸し剥がしの犠牲になりかねないと、中小企業再生支援協議会を通じ再建案も協議したものの、沖縄銀行と折り合いがつかず、やむを得ず断

念した経緯がある。

新設設備競売の危機

近年では、沖縄銀行の子会社である美ら島サービサーが窓口となり、沖縄県信用保証協会、沖縄振興開発金融公庫との連携により債務を返済してきた。だが平成31年1月、この枠組みそのものが沖縄銀行によって一方的に解除され、新設したばかりの工場設備などを含めた工場、根抵当物件すべてを競売にかけると宣告された。

さすがにやりすぎとばかり、信用保証協会や振興開発金融公庫も再生途上の地

域産業を切り捨てるのは如何なものかと

困惑、窮地に立った久米仙酒造は、沖縄銀行と直接話したいと度々持ちかけた

が、拒否され続けた。

第一抵当先である信用保証協会も「なぜ任意整理の方向性を探らないのか」と

沖縄銀行に相談を持ち掛けてくれたものの却下されたとのことだった。

仕方なく窓口の美ら島サービサーを訪問、同席した地元取引先から億単位での任意売却の支援を申し出てもらうことになったが、窓口担当者から「取引先の〇〇さんに法的に競売に参加してもらえばいいのでは」と事実上、門前払いだった。

結局、投資済みの新設備を含め工場を競売にかけるという沖縄銀行の手法に対し、一昨年10月23日、

那覇地方検察庁へ告訴状の提出、同年12月25日、検察庁は刑事事件として告訴受理に至った。

それを受け沖縄銀行は同日、突如として久米仙酒造の債権を根抵当権ごと沖縄債権回収サービサーへ売却。いわゆる一般的に債権飛ばしという挙に打って出た。

一方的な強要

その沖縄銀行が株主であるサービサーとは昨年7月、常勤顧問のT氏や席調査役・弁護士M氏、ソリューションビジネス部のY氏などの話し合いが持たれた。

その時の話では、久米仙酒造は債務超過の状況ではあるものの、コロナ禍の中においても売り上げは年々伸びており、企業再生の価値があるとの判断ができることから、共に再生の道を探していこうとの内容だった。

また同月、サービサーからは沖縄振興開発金融公庫、沖縄県信用保証協会を伴い、事業再生案の基本的枠組み(1〜5)が提示された。何と沖縄銀行と同じ手法であった!!

沖縄銀行本店



- 1、中小企業支援協議会の利用（他公的機関活用）
 - 2、一定額の債務免除（公庫及び保証協会の場合、支援協スキームでなければ債務免除は困難）
 - 3、株主責任↓全株式の譲渡（事前に確約書や覚書が必要）
 - 4、経営者責任（既に創業家の代表は退任している）
 - 5、新たな取引金融機関の確保
- また、突如としてサービサー・ソリューションビジネス部のY氏より債権返済を開始してほしい旨連絡が入り、支払いを始めるに至った。

はなく、まるでマチ金手法ではないか。このようなことが横行されている現実を金融庁は知るべきである。

反「新しい資本主義」

久米仙酒造は2年来の厳しいコロナ禍で、生き残り策を講じ徹底した業務改善や新市場拡大に動き、他産業が委縮を余儀なくされる中、売り上げ増を果たし往年の赤字体質から脱却し、成長軌道への道を担保しつつある。

そうした成長の芽を伸ばしてこそ、未来は開けていくし地域の産業力は底力を持つようになる。

それを債務者の犠牲の上に利益をたたき出すことのみを追求するような現実があれば、それは岸田新政権が看板に掲げる「新しい資本主義」にも反した行為ではない。

銀行の公的役割

これまでたびたび本誌は、沖縄のサービサー問題を糾弾するリポートを示してきた。

何も沖縄銀行が憎いわけでも、業務妨

害したいわけでもない。

地域共同体を1つの身体に例えれば、銀行は手足や臓器など各組織に栄養と酸素を供給する心臓に匹敵する。銀行が健康、健全であつてこそ地域が活性化する。銀行が地域経済活性化のための最大のパワー源であることに誰も異論を唱えることはない。それだけ公的な役割を担っているということだ。

特権の上に胡座をかくな

沖縄は戦後27年間、米国に統治された歴史的背景があり、沖縄の経済を守るとの大義名分から地域金融機関に対する特権が認められている。具体的には本土の大手金融機関が入れないような政治的バリアに守られている。

だが、そうした特権の延長線上に位置する銀行は特権に胡座をかくことなく本来の公的な役割を遂行して欲しいと願う。銀行が病むことは、すなわち沖縄の経済が弱体化することを意味する。

それだけは避けたいと願うばかりだ。

次号に続く（本誌特報取材班）

ワールドトピックス

津波に吞まれたトンガ男性 27時間泳ぎ切り帰還果たす

南太平洋・トンガ沖で1月15日に起きた海底火山大噴火による津波に吞まれた57歳のトンガ人元大工リサラ・フォラウさん（Ⅱ写真）が27時間、海を泳ぎ切り生還を果たした。しかもフォラウさんは足が不自由で、「赤ちゃんの方が速く歩ける」と皮肉られるような身体障害者だった。



フォラウさんは首都ヌクアロファから北西8キロのアタタ島に住み、自宅で塗装作業をしていたところ、兄から津波を知らされ、親族から押し上げられるようにして木に登った。

しかし、津波

はあつという間に木の上部にまで押し寄せ、フォラウさんは瞬く間に津波に吞まれ押し流された。この時の津波は6メートル近くあつたとされる。

暗い海を漂っていた時、陸地の方から息子が自分を探す声が耳に入った。

だが、あえて沈黙を守った。

「返事をしたら息子は自分を助けるために海に飛び込んでしまう」と思ったからだ。

最愛の息子が暗い海の中で溺れるリスクを考えると、とても返事ができなかったという。

そのまま潮流に流され、一旦、小島にたどり着き、さらに首都があるトンガタプ島を目指し、再び泳ぎ始めたという。小島からは平泳ぎでゆつくりと約3時間泳ぎ、はいつくばるようにして道路にまで出て保護された。

ピアスでギネス、顔に100個 全身で453個、痛みに耐える

数あるコレクターの中で、ピアスというのは自己犠牲が伴う。



肌に穴をあける必要があるからだ。

その痛みに耐え、しかもギネスブックにも登録されたのがドイツ人のロルフ・ブッフホルツ（Ⅱ写真）だ。

ブッフホルツ氏がギネスを獲得したのは、顔に100個、全身で453個と群を抜いたピアスをはめたためだ。

その他、タトゥーやシリコンを埋め込んだ角も注目される。

痛みは生理的なものだけではない。ブッフホルツ氏は旅行先のドバイで、入国拒否されている。

南アジアや中東では黒魔術への懸念が強い。

ブッフホルツ氏は黒魔術師ではないのだが、その異様な様相から黒魔術疑惑がもたれた模様だ。

そうした肉体的、精神的な痛みに耐え続けながら、ブッフホルツ氏はピアスに目覚めた40代前半から、ピアスをはめることに余念がない。

—日本新秩序へ—

松田学の国力倍增論

松田政策研究所代表 松田 学
元衆議院議員
未来社会プロデューサー

第21回

オミクロンの正体とパンデミックの終焉

相変わらずコロナ禍が続いているが、新型コロナウイルスのスパイクが32か所も変異してくれたおかげで、ACE2受容体から入るウイルスではなくなってくれたのがオミクロン株である。つまり、血管の細胞壁を破って体中に血栓を飛ばす「たちの悪い風邪」だった新型コロナウイルスが、新型コロナウイルスの病態ではなくなり、粘膜細胞から入ってくる普通のコロナ風邪に変わってくれた。日本人なら誰もが小さいときからかかっていた風邪だ。

3回目接種が進められている遺伝子型ワクチンが免疫バランスを崩し、かえって感染を爆発させるメカニズムも最先端のワクチン学研究で明確になってきているようである。

そもそもオミクロンとは…
なぜ重症化が少ないのか

去年の夏までの第5波で重症化率は既に低下していたが、罹った人はきつい症状だった。デルタまでの新型コロナウイルスは、血栓を主体に起こってくる病態だった。

これまで変異株が旧株を上書きしてきたが、ホストである人間のほうが免疫力を強めてきた。αからデルタまでは万を超えた変異が起こり、それらは武漢で最初に生まれた遺伝子の幹から発生したものだ。オミクロン株は分子構造が全く異なる。スパイク部分での32か箇所の変異でアミノ酸が変わり、3年前の2019年までの旧型コロナの229Eと同じスパイクになった。

130年前のロシア風邪（西洋人は未経験だったコロナ風邪の始まり）は、薬もワクチンもないのに、自然に収束した。かかった人の中で広がって集団免疫になって終わり、その後も変異を続け、日本では4種類のコロナ風邪として定着していた。百年前のスペイン風邪は3年間で収束したが、これも変異を続けて毎年の季節性インフルとなっている。

そもそもウイルスは人体そのものの一部を構成するものであり、人間との共存を目指して変異していく存在だ。今回の

新型コロナは当初から感染力が極めて強く、感染を人流抑制や行動制限といった人為で抑えられると考えること自体、人間の側での思い上がりだと考えたほうがよい。あつと言う間に無症候の形で社会全体に広がって集団免疫が形成され、感染は収束し、次は感染力をより強めた変異株が現れてより高い感染波となるが、これも集団免疫が形成されて収束する…この繰り返し過程で人間の側で免疫訓練がなされる。

デルタ株までは、血管の壁にあるACE2受容体という血圧制御のところから入り、血栓を全身に飛ばして肺炎を起こす

病態だったが、オミクロンはACE2に結合できなくなり、代わって、喉の粘膜にあるペプチドを分解する酵素のところに感染するようになり、のど飴が効く普通の風邪になった。ただ、荷電のプラスが強いので、粘膜に結合しやすくなり、より感染しやすくなったものである。

感染はそもそも抑えられない

感染の波が来る度にウイルスに曝露して免疫力をつけるほうがいいというのは、感染論の基本である。自然感染でシームレスにかかり続けることで、「免許更新」がなされる。今回は無症候がほとんどあり、感染しても症状が出ないこと

を人類が初めて目で見える形で経験している。日本人の場合、以前の旧型コロナ風邪と、一昨年に武漢から春節で中国からたくさんの人々が持

ち込んだ弱毒性のコロナウイルスに多くの日本人が感染したことで、二回ワクチンを打ったのと同じことになっていた。ゆえに、そのあとの本チャンの新型コロナウイルスでは、ほとんどの日本人がびくともしなかったわけである。

オミクロンは日本でも既に津々浦々まで広がっていて、人流抑制や飲食店での制限とは無関係に、ほとんどの人が集団感染するものだ。普通の風邪の60倍、感染力が強く、10日間で集団の50%、20日間で75%が罹る。集団免疫はあつという間にできることになる。沖縄では米軍の兵隊と言っているが、実際にはどこから来たかわからないようだ。「感染者数」が増えても、PCR検査でたまたま感染中の人が見つかっただけのこと。PCRを増やせば「感染」が増えるという関係になる。



【プロフィール】1981年東京大学卒、同年大蔵省入省、内閣審議官、本省課長、東京医科歯科大学教授、郵貯簡保管理機構理事等を経て、2010年国政進出のため財務省を退官、2012年日本維新の会より衆議院議員に当選、同党国会議員団副幹事長、衆院内閣委員会理事、次世代の党政調会長代理等を歴任。

今回の遺伝子型ワクチンについては、その報道は強く規制されてきたが、世界的な権威である研究所がその毒性を明らかにしてきた。加えて、今回の接種で、それが免疫系のバランスを崩すことも分

かり始め、ワクチン学の新しい研究が始

まっているようだ。

免疫には自然免疫、液性免疫、細胞性免疫の3つがある。皮膚と口と鼻は外界に接している部分なので、人体でも自然免疫が強い部分だ。最も強い免疫は食物の入り口である口であり、口腔内にもすごい免疫システムがある。皮下に打って免疫を刺激するのがワクチンの基本だが、今回はそれをせずに、いきなり筋肉に注射している。筋肉はポンプなので、数週間かけて全身の細胞膜に行き、全身で細胞がスパイクのとげを作るようになる。そのときに粘膜や口を通過せず、そこでの免疫作用を起こさないことで自然免疫が抑制されるメカニズムがわかり始めている。ブースター接種をしてかえって感染爆発が起こっている国があるのは、そのためだそうである。今まで専門家も知らなかった免疫の扉が開かれようとしており、これが世界的レベルでの「人体実験」？の成果？なのかもしれない。

キーワードは「無症候性バンド

ミック」：問われる政治決断

オミクロンの正体が分かってきたのに、なぜこんなに騒ぐのか。世界中で論

をペスト並みに扱い、陽性者↓保健所↓隔離というプロセスが介在することで、この2年間、社会的、経済的不都合だけでなく、しなくてもいい人が重症化してきた。これは人災であり、医療常識も社会常識も無視されている。PCRによる煽りで国民は振り回されてきた。

岸田政権は新しい政策へと、早急にロードチェンジすべきだろう。為政者の仕事は、正しい感染症の知識の共有がメディアによって妨げられていることで形成されている国民の「コロナ脳」に迎合して支持率を上げることではなく、真に国民と国を守ることにあるはずだ。現状は人災であるがゆえに、政策でしか今の状況からは脱却できない。

コロナで国際的なパワーバランスも変化している。日本はいつまでもジタバタしてられないはずだ。現状は「無症候性パンデミック」。世界的なパンデミックはもう、終わった。

(本稿は井上正康・大阪市立大学名誉教授(分子病態学)の所見に基づく記述である)

アジア短信

12月28日(火)

香港紙創業者ら追起訴―香港デモの司法当局は廃刊した香港紙・蘋果日



報(アップル・デイリー) 創業者の黎智英(ジミー・ライ)氏ら7人と関連会社を扇動出版物発行の共謀罪で追起訴した。

29日(水)

メディア幹部ら逮捕 香港警察は、扇動的な出版物発行の共謀容疑で、民主派寄りの報道で知られるネットメディア「立場新聞」の幹部ら7人を逮捕。著名女性歌手の何韻詩(デニス・ホー)氏も含まれる。同紙は廃刊を発表。

30日(木)

台湾、有事に備え予備役強化 台湾国防部(国防省)は中国による侵攻など有事の際に動員する予備役の強化を図る新組織「全民防衛動員署」の除幕式を行った。香港メディア幹部逮捕を正当化―中国外

文が出ているのに、なぜワクチンを中止しないのか。医学的にはあり得ないことが起こっており、あらゆる情報がワクチンを打たせる方向に誘導されているという指摘も出ている。

分かっている先生は多く、研究を経験した大半の医師はおかしいと感じているが、大学病院などで立場のある先生方は発言を止められたままのようだ。「当病院でクラスターが発生したら診療ができなくなる」と。全ての医学会がこの2年、ストップしており、多くの開業医が新しい知識を勉強する機会も少なくなっているそうである。

重要なのは指定感染症の指定の分類の問題であり、発症した人が直接医師に行くようにすれば良いだけのこと。毎年インフルエンザで桁違い(1千万人以上)の患者が医師にかかっているが、医療崩壊などしていない。開業医が診られるようにすれば、全て解決する。

人間の側での免疫訓練により、新型コロナウイルスはデルタ株までに次第に軽症化していたが、オミクロンでさらに「3日も寝なくて済む風邪」になった。新型コロナ

務省 中国外務省の趙立堅副報道局長は

記者会見で、民主派寄りの報道で知られる香港のネットメディア「立場新聞」幹部が現地警察に逮捕されたことについて「香港の法治と社会秩序を守る正当な行為で、報道の自由とは何の関係もない」と主張した。また「香港住民に言論や報道の自由は十分保障されているが、犯罪の責任を逃れる口実にはならない」とも述べた。

31日(金)

高校生議員も可能に―韓国 韓国国会で国会議員選挙と地方選挙の被選挙権年齢を25歳から18歳に引き下げる改正公職選挙法が、与野党などの賛成多数で可決成立した。法的には高校生の議員も可能になる。与野党とも2022年3月の大統領選に向け若者の歓心を買う思惑があるとみられている。

北京五輪「世界が期待」 中国の習近平国家主席は新年を迎えるに当たりテレビ演説を行い、北京冬季五輪について「世界が中国に期待しており、中国は準備ができています」と自信を見せた。1月1日(土)

台湾総統「軍事で解決せず」 台湾の蔡



英文総統は総統府で発表した元旦の談話で、緊張が高まる中国との関係に

関し「軍事では決して解決しない」と強調した。経済の安定を脅かす軍事衝突を避け、互いに社会と人々の生活の安定を重視するよう中国側に呼び掛けた。

3日(月)

タリバン「自爆部隊」組織へ アフガニスタンのイスラム主義組織タリバン暫定政権のムジャヒド報道官は、地元放送局ラジオ・アザディのインタビュで「軍特殊部隊内に自爆部隊を設ける」と明らかにした。

4日(火)

香港、民主派寄りメディアまた廃刊 民主派寄りの論調で知られる香港のインターネットメディア「衆新聞」が廃刊となることが決まった。衆新聞は2日の声明で「過去2年間の社会の変化で、メディアの生存環境は悪化し、われわれの理念を達成することができなくなった」と説明した。

ASEAN協会

Association of Southeast Asian Nations

アセアン加盟国



一つのビジョン
一つのアイデンティティ
一つの共同体

アセアン協会の目的

本会は、日本とアセアン諸国との相互理解を図り、経済的社会的発展と国民相互の友好に貢献することを目的とする。

活動内容

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ◆ネットワーク・サービス | ◆ビジネス・サポート |
| ◇アセアン諸機関・組織とのネットワーク | ◇海外進出・合併企業に関するサポート |
| ◇各国大使館とのネットワーク | ◇外国人研修・雇用促進 |
| ◇国際交流・留学に関する支援活動 | ◇企画・開発業務等に関するサポート |
| ◆教育・研修・研究活動 | ◆出版活動 |
| ◇国際会議・シンポジウムの開催 | ◇アセアン・ニューズレターの発行 |
| ◇親善使節・視察団派遣 | ◇政治・経済・文化資料の提供 |
| ◇研究会・講演会・懇談会の開催 | ◇その他 |

事務局 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-2 電話(03)5280-6222 ファクス (03)5280-6229



トルコ、ウイグル族19人が中国主席を「虐殺」で告発 中国・新疆ウイグル自治区での迫害から逃れてトルコで暮らすウイグル族の19人が、中国の習近平国家主席ら112人を「民族虐殺に関与した」などとして、トルコ検察に刑事告発した。

5日(水)

習氏、党大会へ訓練強化指示 中国、軍に新年1号命令 中国共産党機関紙・人民日報は、習近平国家主席（中央軍事委員会主席）が軍に対する今年の1号命令に署名し、「よく戦うことのできる精鋭部隊」実現のために訓練を強化するよう命じたと伝えた。署名は4日に行われ、

秋に開催される党大会に向けて任務に励むことも求めた。

北朝鮮が新型弾道弾発射 北朝鮮が日本海に向けて新型の弾道ミサイル1発を発射。朝鮮中央通信は「音速の5倍以上で飛行する極超音速ミサイルの発射実験に成功」と伝える。

ミャンマー、国際旅客便の着陸禁止、1月末まで延長 ミャンマー国軍の統制下にある保健省は、新型コロナウイルスの感染拡大防止策として講じている国際線旅客便の着陸禁止措置を、1月末まで延長すると発表した。外国人に対する新規ビザ（査証）の発給も引き続き停止する。7日(金)

台湾、市街戦訓練を公開 台湾有事への懸念が高まる中、台湾国防部（国防省）は陸海空軍の演習を3日間にわたって行い、それぞれ報道陣に公開した。南部・高雄で行われた陸軍演習では、コンベエンスストアや薬局が並ぶ「模擬市街地」で台湾での市街戦を想定した訓練を実施し、有事に対応できる能力をアピール。軍事圧力を強める中国をけん制した。中国・重慶でビル崩壊、16人死亡 中国

南西部・重慶でガス漏れが原因とみられる爆発により建物が崩壊し、少なくとも16人が死亡、10人が負傷した。9日(日)

中国・天津でオミクロン株市中感染 中国天津市で新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」に市中感染したとみられるケースが確認され、市政府は約1400万人の市民全員を対象にPCR検査を開始した。10日(月)



ミャンマー、スーチー氏に再び有罪判決 ミャンマーの首都ネピドーに設置された特別法廷はクーデターを起こした国軍に拘束され、軟禁さ

れているアウンサンスーチー氏（76）に対し、無線機を違法に輸入して使用したなどとして、禁錮4年の有罪判決を言い渡した。13日(木)

インド東部で旅客列車脱線、9人が死亡 インド東部西ベンガル州で12両編成の旅客列車が脱線、少なくとも9人が死亡、25人以上が重軽傷を負った。

12月27日（月）

日中防衛相会談、岸氏が中国艦動向に「深刻な懸念」 岸信夫防衛相は、中国の魏鳳和国務委員兼国防相とテレビ会議方式で約2時間にわたり会談した。岸氏は沖縄県・尖閣諸島周辺を含む東シナ海での中国軍や海警局の艦艇による活動に「極めて深刻な懸念」を表明し、自制を要求。台湾海峡の平和と安定の重要性にも言及し、「引き続き関連動向を注視していく」と伝えた。

政府、大学のオンライン授業の上限緩和へ 政府は教育再生実行会議の後継組織「教育未来創造会議」の初会合を首相官邸で開催した。議長を務める岸田文雄首相は、大学などで対面とオンラインの授業双方の利点を生かした「ハイブリッド型」教育を進めるため、オンライン授業で認められる単位数の上限を緩和する特例制度を設ける考えを示した。会議は今夏にも第1次提言をまとめる。

遠山元議員ら4人を在宅起訴 公明党衆院議員の秘書らをめぐる貸金業法違反事件で、東京地検特捜部は、融資仲介を無登録で繰り返していたとして、元財務副大臣の遠山清彦・同党元衆院議員ら4人を同法違反罪で在宅起訴した。

1月2日（日）

米軍感染拡大「激しい怒り」―沖縄県知事 玉城デニー沖縄県知事は記者会見で、沖縄の米軍基地内で新型コロナウイルスの大規模な感染拡大が年明け以降も続いていることについて「感染者の急増は米軍の対策の不十分さを示すもので激しい怒りを覚える」と強調した。沖縄の米軍基地では1日に235人、2日に70人の新規感染者が確認され、日本人基地従業員の「オミクロン株」感染も相次いでいる。玉城氏は「米国の状況を日本、沖縄に持ち込むと言わなければならない」と訴えた。



4日（火）

通常国会前の外遊見送り 首脳外交積極姿勢 岸田文雄首相は記者会見で、17日召集予定の通常国会前の外遊を見送るこ

皇位継承、政府対応に苦言―野田元首相 立憲民主党の野田佳彦元首相は党会合で、安定的な皇位継承の在り方をめぐる政府対応について「有識者会議が立ち上がったのが今年3月、今日まで（退位特例法施行から）2年半かかっている。非常に遅かった」と苦言を呈した。同党は2022年1月にも、野田氏を委員長として検討委員会を立ち上げ、党の考えを取りまとめる方針。野田内閣は、女性皇族が結婚後も皇室にとどまるようにする「女性宮家」創設を検討した経緯がある。野田氏は有識者会議の最終報告につ



いて「諸課題を先送りし、女性宮家という言葉が全く出てきていない」と批判した。

濃厚接触者も受験可 末松信介文部科学相は、新型コロナウイルス変異株「オミクロン株」の濃厚接触者となった大学受験者について、無症状などの要件を満たせば、別室で受験を認めると表明。症状の有無にかかわらず受験を認めないとした指針を撤回。

28日（火）

とを明らかにした。米国、オーストラリアへの訪問を検討していたが、国内外での新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、「国内のコロナ対策に万全を期すため、行わないこととした」と語った。

5日（水） 首相、連合新年会に出席 岸田文雄首相が連合の新年交歓会に出席。自民党出身の首相では2013年の安倍晋三氏以来9年ぶり。夏の参院選をにらみ、立憲民主党などと支持団体の連合の間にくさびを打ち込む狙い。

6日（木） 「同志国」との連携図る日本、日豪首脳会談 岸田文雄首相とオーストラリアのモリソン首相が6日、自衛隊と豪軍の相互訪問の法的基盤となる「円滑化協定（R A A）」に署名した。日本政府はインド太平洋地域で覇権主義的な動きを強める中国を念頭に、欧州やアジアの「同志国」と連携を深めたい考え。豪州との防衛協力強化を先例に各国と協



デジタル人材 5年で230万人 政府はデジタル技術による地方活性化を目指す「デジタル田園都市国家構想実現会議」（議長・岸田文雄首相）の会合を首相官邸で開き、当面の施策の全体像を取りまとめた。デジタル化を推進する人材を2022年度からの5年間で230万人確保する方針を明記。デジタル技術を生かした地域課題の解決に取り組む自治体を24年度までに1000団体にする目標を掲げた。

安倍元首相を再び不起訴、「桜」前夜祭巡り 安倍晋三元首相側が主催した「桜を見る会」前夜祭を巡り、検察審査会の議決を受けて再捜査していた東京地検特捜部は、公職選挙法違反などの容疑について安倍氏を再び不起訴とした。「桜」を巡る安倍氏に対する捜査は終結した。防衛相、ASEANホットラインに加入 岸信夫防衛相はブルネイのハルビ第2国防相とテレビ会議形式で会談した。東南アジア諸国連合（ASEAN）が運用する防衛当局間のホットライン加入を表明。「地域の平和と安定により積極的に貢献したい」と強調した。

議を進める方針で、英国とのR A A交渉に弾みがつくことに期待が出ている。政府、通常国会法案絞り込み 参院選控え61本程度 政府は、17日召集予定の通常国会に提出する新規模法案を61本程度とする方針だ。夏に参院選が予定され大幅な会期延長は困難なため、本数を絞り込む。こども家庭庁設置法案、経済安全保障推進法案など岸田政権の「実績」をアピールできる法案の成立を優先させる。通常国会に提出される政府法案は、例年65本前後となることが多い。一方、参院選の年は少なくなる傾向があり、2016年は56本、19年は57本だった。

7日（金） 「敵基地攻撃」検討を伝達、日米2プラス2 日米両政府は外務・防衛担当閣僚による安全保障協議委員会（2プラス2）をテレビ会議方式で開いた。成果文書の「共同発表」をまとめ、覇権主義的な動きを強める中国をけん制。敵基地攻撃能力の保有を念頭に「あらゆる選択肢を検討する」と米側に伝えた。8日（土） 新資本主義、今夏に実行計画―首相が月

刊誌寄稿 岸田文雄首相は8日発売の月刊誌「文藝春秋」に、自身の看板政策「新しい資本主義」に関する論文を寄稿した。具体的行動を盛り込んだ実行計画と工程表を今夏に策定すると表明。2023年に日本で開かれる先進7カ国首脳会議（G7サミット）に触れ、「分断や格差を乗り越える新しい資本主義の具体像を世界に問いたい」と記した。

皇位の男系継承堅持を―安倍氏 自民党の安倍晋三元首相は8日発売の月刊誌「文藝春秋」掲載のインタビュで、皇位継承について「男系継承が126代にわたり続いてきた。歴史の重みを考慮し、伝統を守り抜かなければならない」と男系継承の堅持を訴えた。

9日（日）

海部俊樹元首相死去、91歳 海部俊樹元



首相が東京都内の病院で老衰のため死去した。91歳だった。昭和生まれ初の首相で、リクルート事

件で高まった政治不信を払拭するため、政治改革に内閣の最重要課題として取り組んだ。名古屋市出身。葬儀は近親者で

済ませた。

首相、在日米軍の不要外出認めず 岸田文雄首相はNHK番組で、在日米軍での新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、不要な外出を認めない方向で米側と大筋合意したと明らかにした。「詳細を詰めている」と述べた。沖縄・広島・山口の3県に対し、コロナ対応の改正特別措置法に基づく「まん延防止等重点措置」の適用が同日、開始された。

米軍関係者の原則外出制限、日米合同委員会が共同声明 日米両政府は在日米軍関係者について原則として2週間外出を制限するとした日米合同委員会の共同声明を発表した。在日米軍基地で新型コロナウイルスの感染が拡大し、基地所在県などで陽性者が続出している事態を踏まえた措置。

対中国「現代版コム」に発展も 日米両政府が、先端技術の輸出を規制する新たな枠組み作りを検討していることが明らかになった。価値観を共有する欧州の有志国と連携することを視野に入れている。民間の先端技術を活用して軍事力を高める「軍民融合」戦略を進める中国へ

月間事件簿

12月28日（火）

中国人元留学生に逮捕状、ソフト不正購入未遂容疑 中国人民解放軍人の妻から指示を受け、日本製の企業向けウイルス対策ソフトを不正に購入しようとしたとして、警視庁公安部は詐欺未遂容疑で中国籍の元留学生王建彬容疑者（36）の逮捕状を取った。同容疑者は中国に帰国しており、国際刑事警察機構（ICPO）を通じて国際手配する方針。

29日（水）

介護施設元職員を再逮捕 茨城県古河市の介護老人保健施設で入所者が体内に空気を注入され死亡した事件で、県警は、同様の手口で別の入所者も殺害したとして、殺人容疑で元職員の無職赤間恵美容疑者（36）を再逮捕した。

30日（木）

谷本容疑者が死亡 大阪市北区の雑居ビルのクリニックで25人が死亡した放火殺人事件で、事件に関与したと特定された



職業不詳の谷本盛雄容疑者（61）が、治療を受けていた同市内の病院で死亡。動機の説明は困難になった。

1月2日（日）

準強制わいせつ容疑で男再逮捕―薬物で抵抗不能の女性に・滋賀県警 京都市で連れ去られた女子高校生Ⅱ当時（19）Ⅱが薬物中毒死した事件で、未成年者誘拐容疑で逮捕された無職入江公史郎容疑者（39）Ⅱ滋賀県守山市Ⅱが、薬物の影響で抵抗できなくなった別の女性にわいせつな行為をしたとして、県警守山署は準強制わいせつ容疑で再逮捕した。調べに対し、「触ったことは間違いないが、女性の同意を得ていた」と否認しているという。女性にけがはなかった。

3日（月）

富士山の山頂付近で男性滑落 富士山の山頂付近で、登山者から「男性が滑落して動けなくなった」と119番があった。捜索にあたっていた静岡県警の山岳遭難救助隊が御殿場口9合目付近で男性を見つけたが、搬送先の病院で死亡が確認さ

の輸出を食い止めることが念頭にある。敵基地攻撃能力に前向き、維新と国民日本維新の会の馬場伸幸共同代表はNHK番組で、政府が検討する敵基地攻撃能力の保有に関し「抑止力として反撃する能力を持っていることは絶対に必要だ」と述べ、前向きな姿勢を示した。国民民主党の玉木雄一郎代表も「相手領域内での迎撃、抑止能力は必要だ」と同調した。核融合戦略を初策定へ、政府 政府は夏までをめどに「核融合」の研究開発に関する戦略を初めて策定する。脱炭素に資する技術とみて、国際競争力を高めるための具体策を盛り込む。戦略づくりに向けて早ければ1月中にも内閣府に有識者を集めた議論の場を設ける。

12日（水）

TPP加入、中国牽制―経産相、シンガポール貿易相と会談 シンガポールを訪問中の萩生田光一経済産業相はガン・キムヨン貿易産業相と会談し、環太平洋連携協定（TPP）の新規加入では高い基準を完全に満たすことができる国・地域を対象に拡大していくべきだとの認識で一致し、中国を牽制した。

れた。

特急にはねられ高齢女性死亡、大分・別府 大分県別府市上人ヶ浜町で、JR日豊線の線路を歩いて横断していた近くの無職吉野幸子さん（88）が、博多発大分行き特急ソニック73号にはねられ、間もなく死亡した。

4日（火）

10人以上のバイク集団と70歳の男が殴り合い、男は顔面骨折―愛知 愛知県半田市で、10人以上でバイクのツーリングをしていた集団と車を運転していた70歳の会社員の男の間で殴り合いのけんかとなり、70歳の男は、ほお骨を骨折するなど、の重傷を負い、警察は、バイク集団の47歳から50歳の男ら4人を傷害の容疑で逮捕した。そして逮捕から5日後、それまで被害者とされていた70歳の男が、傷害の容疑で逮捕された。

5日（水）

長良川鉄道の列車と乗用車が衝突、男性死亡 岐阜県郡上市の長良川鉄道の踏切で、列車と乗用車が衝突し、乗用車を運転していた男性（74）が死亡した。サファリパークで飼育員が虎にかまれケ

警視庁からのお知らせ!

3つのウソ電話に注意!

警察・金融庁・銀行協会・裁判所
を名乗って

あなたの口座が使われ
ました。
キャッシュカードを預か
ります。

信じていいかな?
おかしいかな?

**暗証番号は
絶対他人に言わない**

市・区役所・厚生労働省
を名乗って

医療費が戻りますよ
ATMに行ってください。

へえ、早くお金もらおう!

**ATMで
手続きすることは絶対ない**

息子や孫のふりをして

携帯電話の番号が
変わった。

**すぐに元の電話に
かけ直す**

ウソの電話は、すぐ110番!

警 視 庁



ガ 栃木県那須町の那
須サファリパークで飼
育員3人が虎にかまれ、
ケガをした。3人は病
院へ搬送され、うち女
性1人が右手首を欠損
するなどの重傷を負った。

「内密」希望の女性出産、熊本 熊本市
の慈恵病院で昨年12月、10代女性が病院
以外に身元を明かさず出産できる独自の
仕組み「内密出産」を希望して出産した
ことが同病院への取材で分かった。

「立民から制作費」と抗議声明、ネット
メディア出演者 国会議員や有識者らに
よる討論動画などをインターネット上で
配信する「Choose Life P
roject (CLP)」が、立憲民主
党から番組制作費として計1000万円
以上の資金提供を受けながら隠していた
として、ジャーナリストの津田大介さん
ら出演者5人が抗議声明を出した。CL
Pはツイッターで「不信任を与えてしま
う形となり申し訳ない」と謝罪した。
ATMの1億円窃盗容疑、元警備員の男
を逮捕―千葉県警 メンテナンス中の現

金自動預払機(ATM)から現金約1億
円を盗んだとして、千葉県警柏署は窃盗
容疑で警備会社ALSO K千葉支社の元
社員角川恵太容疑者(33) 同県市原市
光風台IIを逮捕した。容疑を認め、「競
艇をするために金が必要だった」などと
話しているという。

6日(木)

建設作業員の男再逮捕―埼玉県警 埼玉
県の草加署は器物損壊と傷害の容疑で八
潮市緑町1丁目、建設作業員の男(50)
II道交法違反(酒気帯び)で起訴IIを再
逮捕した。再逮捕容疑は、昨年12月11日
午後5時42分ごろ、八潮市中央1丁目の
市道で、市内の男性(48)の車を蹴るな
どして破損させ、約10分後には東京都江
東区の男性(50)の車と衝突する事故を
起こし、殴る蹴るの暴行を加えた疑い。
10代女性にわいせつ行為、男再逮捕―さ
いたま市 再逮捕容疑は昨年11月29日午
後8時5分ごろ、さいたま市岩槻区の路
上で、自転車で帰宅途中の10代後半の女
性を路上に押し倒して体を触るなどした
疑い。女性は腰を打撲するなど約2週間
のけがを負った。

8日(土)

焼き肉店に男が立てこもり―捜査員突入
し逮捕、警視庁 東京都渋谷区代々木の
焼き肉店で、刃物のようなものを持った
男が立てこもり、店長の男性(49)が人
質として取り残された事件は、警視庁の
捜査員が約3時間後に店内に突入。男を
逮捕し禁容疑で現行犯逮捕した。けが人
はなかった。同庁によると、男は住所、
職業不詳の荒木秋冬容疑者(28)。身柄
を確保された際、牛刀と果物ナイフ2本
の計3本を持っており、捜査員に「俺の
人生を終わらせてくれ。死刑にしてくれ」
などと話したという。

10日(月)

生後2カ月次男冷凍庫に入れる、大阪府
警が父逮捕 生後2カ月の次男を冷凍庫
に入れたなどとして、大阪府警は暴行容
疑で父親の会社員西岡竜司容疑者(42)
II大阪市東住吉区駒川IIを逮捕した。「暴
行のつもりはなかった。子供がかわい
い気持ちで意地悪したいと思った」と容疑
を一部否認しているという。次男には複
数の骨折も確認されており、府警が詳しい
経緯を調べている。

「ごめんね」と 言っ母他界

預けられた叔母の家

父親は徴兵され外地で死亡したというが、実際のところ詳細は不明だ。宮古島の人たちの多くは戦争中、平良港から船で台湾に疎開していた。

母親は終戦後、疎開先の台湾で生まれ3歳となっていた私を連れて宮古島に戻った。しかし、島では仕事がなかったために沖縄本島で職を得た。

小学校2年生の頃、私は叔母の家に預けられていた。お袋は米軍基地で住み込みで働いていたので、週に一回、その当時は珍しかった米軍のチョコレートやチキンなどのお土産をもって、私に会いに帰ってくる生活だった。

叔母の家はクリーニン屋を営んでいた。時々手伝っていたからクリーニングに関しては、結構詳しい。

ワイシャツは、汚れる部位は決まっている。袖と襟首だ。無論、全体的にしみを落とすため、基本的な洗濯は必要だが、肝心なのは、袖や襟首の汚れを竹製のサラでブラッシングしてしっかり落とすことだ。最後に糊付けとアイロンがけの

技術さえマスターすれば、一人前のクリーニング職人だ。

人は歳をとると、いい加減な服装でも平気になったりするが、私は今でも出掛ける時はきちんとした服装をと心掛けている。ブランド物である必要はないが、清潔でTPOを間違えないことが大事だ。

社会人にとって服装は単にファッションではなく、相手の信用を獲得する戦闘服だ。ビジネスを始めるには、信用が何より肝要だ。

私が清潔な服を好むのは、叔母が営んでいたクリーニング店での経験を通しての美意識を受け継いでいるのかもしれない。

小5、担任から「すぐ家に帰れ」

クリーニング屋だった叔母の家には小学校3、4年までいた。ただお袋は、私が5年生の時に、住み込みの米軍基地での仕事を辞め、産婦人科の病院で家政婦として働き始めた。

一緒に暮らせると喜んだのも束の間、お袋は病気で倒れ闘病生活を強いられ

小柄だった母



袋は布団の中からそつと手を出して私の手に触れた。温もりのある柔らかい手だった。そして、ただ一言「ごめんね」と言った。それがお袋の最後の言葉だった。

小学生の息子を残したまま世を去る母の無念と、不憫な息子への想いがにじんできた。その時の光景を私はずっと忘れない。

小学校は結局、六年間で五回変わった。だから、転校時前後の空白があつて出席日数は少なかつたが、引越して学校に通うようになってからは一度も欠席することはなかった。

全出席日数は人より少ないものの、病气やずる休みで欠席したわけではない。私は皆勤賞ものだといひそかに自負している。

肥溜にハマった

家の中にいるより外で走り回る方が好きだった少年時代、畑にあった肥溜こえだめにハ

マったことがある。

その日は、仲間と一緒に風揚げに興じていた。南風が吹く青空に吸い込まれるようにタコ糸を伸ばしたりするが、風は同じ様に吹いてくれるわけではない。

そうした風に翻弄されて落下する風を何とか持ち直そうと走り出した途端、私は宙に舞い肥溜に落ちた。

畑の中の肥溜は、掘った穴にドラム缶を埋め込み、周りは草で覆われていた。畑の持ち主なら、その位置を間違えることはないだろうが、「一見の客」に過ぎない小学生の私には分かるはずもない。

小学生の私の胸の高さで、ドラム缶の底に足はついた。しかし頭などにも跳ね返りがある。

私は近くの川にめがけてダッシュした。仲間に見えなくなる余裕もない。

まず、手と顔を洗い、それから上着を脱いで上半身の汚れを落とした。しゃがみこんで下半身を洗えば結構、すっきりした。

川の淵は土手になっていて、何人かがその道を通過した。

「どうしたのか?」「大丈夫か?」など

た。お袋の病気は良くなるどころか悪化するばかりだった。おばあ(祖母)はお袋が長くないと知り、生まれ故郷の宮古島に連れて帰りたいと言って来た。叔母夫婦がお袋を抱きかかえてくれ、おばあおばあと私の四人がお袋と一緒に船で帰島した。私が小学校5年の4月のことだった。宮古島に戻りしばらくしてお袋は他界した。

その日、宮古島の小学校で授業を受けていた私に、担任の先生が「すぐ家に帰れ」と言った。嫌な胸騒ぎを覚え、私は一目散に走って帰った。

病床に伏すお袋は、ほほ虫の息だった。それでも帰ってきた私を目で追うと、お



った異様な惚れ込みぶりのものまであった。

さすがにベタ誉めに過ぎるが、これには運動能力の高さを悪いことに使うなどの戒めが込められた言葉だと受け止めた。

寄せ書きの中で性格に言及しているのは、「いつもニコニコしていた常雄君。君の顔を見れば、僕までも朗らかになるよ」(宮里)とか、「いつも会うたびに笑わせてくれた。僕も君の性格を少しでも見習いたい」といったものもある。

故郷ふるさとというのは母親の存在が大きいが、同級生の存在も同じくらい大切だ。今でも少年時代の友達やクラスメイトとは交流が続いている。

中学卒業時の寄せ書き

出だ。

中学校の成績は人に見せられたものではなかった。それでも体育は例外だった。教室ではしょぼくいていた私も、運動着に着替えての体育の時間は俄然、張り切った。

自分でいうのもなんだけれども、体育の時間だけはヒーローだった。

中学校の同窓生が寄せ書きをしてくれたノートにも、運動能力の高さを一様に評価してくれている。

「テニス、卓球、バスケット、マット、学校では何でもこなしたスポーツマン」(池田)

「いつも朗らかでスラリとのびた足、美しい体つきはなんだか裕次郎を思わせるよう。あなたは将来、立派なスポーツマンになれるでしょう」(高原)

中には「君のスポーツマンらしい、柔かいその身体、君は第18回東京オリンピックに出場して、そうとうな成績をあげられる気がする」(友利)とか「64年の東京オリンピックでの活躍を祈る」とい

少年時代のクラスメートと (前列左)



と声をかけてくれる人もいたが、「私は大丈夫です!」とすまして答えて汚れを落とした。

人生を振り返ると、少年時代の肥溜落ちは懐かしさすら感じ、ほのぼのの思い出だが、社会に出て、私は世間の肥溜に手酷く落ちたことがある。連帯保証人になった取引先の会社の倒産に伴う絶体絶命のピンチだった。こちらの肥溜とその匂いは二度と体験したくない酷な思い

今月のお題

「家族」「テーマ自由」

俳句

天 コロナ禍や それでも一輪 梅の花

(水戸市) 桑原 惣兵衛

(今年はコロナ禍から解放されると思っていたら、オミクロン株の猛威の兆候。いったいいつになったら収まるのか。そんな中、咲いた一輪の梅が希望である)

地 わが祖国 山紫水明 人美し

(東京都) 金原 俊雄

(難しい表現を使うことがいいと思っている人がいるが、俳句は心で詠むものである。生きていることを感謝し、育ててくれた祖国を思う。それだけでいい)

人 大仏や 天にそびえて 春の風

(鎌倉市) 高山 壮太

(大仏を遠くから見ると慈愛、近づくにつれて少しずつ圧倒され、そして見上げると空に屹立し、春の風が吹き寄せているというのである)

【佳作】

マスク越し 会話の声も 途切れがち

(横浜市) 篠山 卓

(なかなか話づらいのである)

妻の顔 今朝は昔の 微笑で

(東京都) 東野谷 佐吉

(新婚当時を思い出しているのか)

俳句・川柳3月号

ひょうたん なまず

選者・東嶋 一刀齋

ふるさとや 帰れぬ思い 春の空

(さいたま市) 沓形 史郎

家族という 故郷へ帰る 夜汽車かな

(鎌倉市) 中村 金吾

(コロナだからこそ家族が愛おしい)

川柳

天 貧しさや じつと手を見る

ああ寂し

(東京都) 石川 木鐸

(コロナ禍で自粛、閉店、派遣切り、ホームレスと暗い世相が続くが、現代の啄木ならばかく嘆くかもしれない)

地 禿げ頭 たたく孫に じじい馬鹿

(堺市) 将来はミュージシャン

(孫のやることなすこと、すべてじじいにはかわい。まさに、孫の禿げ頭をたたくいたずらさえ、そこに将来のミュージシャンの才能を見て喜ぶのである)

人 老夫婦 いつのまにやら

デイスタンス

(東京都) 今さらフルムーンでもない

(新婚はゼロ距離、それから段々と距離が離れていくのが夫婦。自然にソーシャルデイスタンスになって熟年離婚という終着駅に到着)

【佳作】

貯金減り 会話も無くなる 独居老

(千葉市) 後期高齢者

(今後の日本社会の問題である)

笑点も リストラの風 身に染みる

(東京都) 窓際三平

(明日はわが身なのか?)

岸田総理 わが家の妻は 聞く耳無し

(東京都) 馬耳東風

(人の話を聞かない妻は馬の耳)

台湾へ 爪を伸ばすや 虎の国

(奈良市) まほろば太郎

(中国は虎という絶滅危惧種か?)

【応募要項】次号のお題「平和」

あなたの俳句・川柳をお寄せ下さい。お題に添ったものでなくても結構です。自作未発表のものを1枚に3句程度まで。住所・氏名(ペンネームの場合は本名も)・年齢・電話番号明記の上で、ご投句願います。投句は返却しません。二重投稿厳禁。天・地・人の句には薄謝なし粗品を贈らせていただきます。締め切りは毎月末。住所 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-7-16 報道ビル6F 「新政界往来」ひょうたんなまず係まで。

編集後記

▽：ピューマ渡久地ジムの取材では、申し訳ないと思うことがあった。

コブラ諏訪に、写真撮りをお願いした時のことだ。

諏訪は、高倉健が書いてくれた書の前を指定した。

諏訪は、そこに行く途中にいた少年をみつけると、さっと一緒に肩を組んだ。

プロのカメラマンなら、この一瞬を決して見逃すことはなかっただろう。この時の諏訪の笑顔が、実によかったのだ。

その輝きを撮り損ねた。

だが、この融けるような笑顔に、このジムのメンバーを家族としている諏訪の胸の内が見えた。

渡久地ジムは、東京タワーの下にある古びたビルの上の3階にある。

戦後の東京の復活の象徴でもある東京タワーは、1950年の朝鮮動乱で連合軍が使った戦車のスクラップが鉄骨の一部に使われている。狸穴の夜に燦然と輝く東京タワーを支えているのは、こうし

た戦乱を潜り抜けた鉄だ。

タイトルマッチを仕留めたコブラ諏訪を支えているのは、燦然と輝く栄光のベルトではなく、家族同然のジムの仲間たちだった。

東京タワーの下にも、もう一つの東京タワーがある。(T)

▽：秩父山系の一角で、里山暮らしを楽しんでいる。

ヒートアイランドが叫ばれるようになった都会とは、朝の冷え込みは4度程度違う。

都心で2度、3度と冷え込めば、間違いなく里山の池には氷が張る。

その鋭角の三角形の枝を持った氷の結晶も美しいが、感動的なのは畑一面に雪のように積もった霜も実に美しい。

うつすらと絹のベールをかぶせたように決して厚くはないが、一

面銀世界で頬がピツと張る。

白菜の畝に行くと、葉は凍っている。

それが午前7時前、太陽が東の山から昇ると、途端に表層の霜が溶け出し葉脈を川のように下り、根元に落ちていく。

白菜は霜に負けまいと、いっぱい糖分を出して凍りつかないよう一晩中、踏ん張っている。だから冬の白菜は甘い。

それでも一部は霜にやられ凍ってしまいが、太陽に命を与えられるように朝には回復する。

何より太陽が融かした夜の霜が、白菜にとつて朝の一杯のドリンクとなり命をつなげている様は感動的だ。

人生も同じ。
艱難は人生を豊かにする一杯のドリンクだ。(I)

お願い

小誌では、読者の皆様の情報提供やアドバイス、寄稿を歓迎します。ジャンルは問いません。政治、経済、国際問題や社会問題など、積極的に原稿をお寄せください。提供された情報に関しては、意欲的に取材を行うつもりです。また情報提供および寄稿に関しましては、住所、氏名、年齢、職業、電話番号などを明記の上、編集部宛までお送りください。

電話・ファックス
03・3291・7773
メール投稿
seikaourai@yahoo.co.jp

国会両院記者会所属
政界往来社

新政界往来3月号(創刊昭和5年)

2022年3月1日発行

定価600円

本体540円

主幹 寺田 利行

発行人 渡辺 清也

発行所 株式会社 ポリテイカ

ルニース社

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町

3-7-16 報道ビル6F

電話・ファックス

03・3291・7773

※小誌の記事や写真、図表の無断使用は禁止します。